



スキャントロニクスシリーズ セットアップガイド



目次

1. はじめに	1
2. セットアップ手順	
同梱品の確認	2
プリンタドライバをインストールするまでの作業手順	3
プリンタ本体の準備	4
USB インタフェース接続 (オプション)	6
RS-232C インタフェース接続 (オプション)	7
パラレルインタフェース接続 (オプション)	10
LAN インタフェース接続 (オプション)	11
無線 LAN インタフェース接続 (オプション)	13
3. LAN/無線 LAN インタフェース設定	17
4. プリンタドライバのインストール方法 (USB)	30
5. プリンタドライバのインストール方法 (USB 以外)	35
パラレルインタフェースのインストール	38
RS-232C インタフェースのインストール	39
LAN/無線 LAN インタフェースのインストール	40
6. ラベル発行までの流れ	41
7. プリンタドライバのアンインストール方法	51
8. ドライバ設定情報の保存方法	53
9. ドライバ設定情報の読み込み方法	55
10. プリンタドライバ共有機能	57
11. Q&A	59
12. ご注意	60

プリンタの設置をした後、セットアップ作業をおこなってください。
本セットアップガイドに、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順を記載
しています。

1. はじめに

本書は、スキャントロニクスシリーズを、プリンタドライバを使用して動作させるまでの説明書です。

スキャントロニクスシリーズプリンタは、MR600e シリーズ、SR400 シリーズ、MT400e シリーズ、MT/MR110w、M-48Pro シリーズで構成されています。

- プリンタドライバをインストールする場合は、下表のドライバ名称のプリンタドライバをインストールしてください。

ドライバ名称	対応機種
SATO MR600e SATO MR610e	スキャントロニクス MR600e シリーズ
SATO SR408 SATO SR412 SATO SR424	スキャントロニクス SR400 シリーズ
SATO MT400e SATO MT410e	スキャントロニクス MT400e シリーズ
SATO MR110w	スキャントロニクス MT/MR110w
SATO M-48Pro8 SATO M-48Pro12 SATO M-48Pro24	スキャントロニクス M-48Pro シリーズ

- ・ 本書の説明では、Ver.11.0.0.10 のプリンタドライバ・プリンタ設定ツールを使用しています。プリンタドライバ・プリンタ設定ツールのバージョンによっては、画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。
- ・ プリンタドライバ・プリンタ設定ツールの対応 OS は次のとおりです。
<32bit OS>
Windows Vista/7/8/8.1/Server 2003/Server 2008
<64bit OS>
Windows 7/8/8.1/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2
(USB インタフェースには対応していません)

プリンタドライバとは、こんなソフトです。

- ① コンピュータで作成したデータ（文書や絵）を…
- ② プリンタに送り出し…
- ③ ラベルに印刷する作業をおこないます。

- プリンタの LAN インタフェース設定は、ネットワークユーティリティ（AdminManager）を使用します。
 - ・ 本書の説明では、Ver.3.2.0 のネットワークユーティリティ（AdminManager）を使用しています。
 - ・ ネットワークユーティリティ（AdminManager）の対応 OS は次のとおりです。
<32bit OS>
Windows Vista/7/8/8.1/Server 2003/Server 2008
<64bit OS>
Windows 7/8/8.1/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2

2. セットアップ手順

同梱品の確認

プリンタを箱から出しましょう。箱を開けたら、同梱品を確認してください。
同梱品についての詳しい説明は、「取扱説明書」をご確認ください。
取扱説明書の手順に従って、プリンタを設置してください。

同梱品

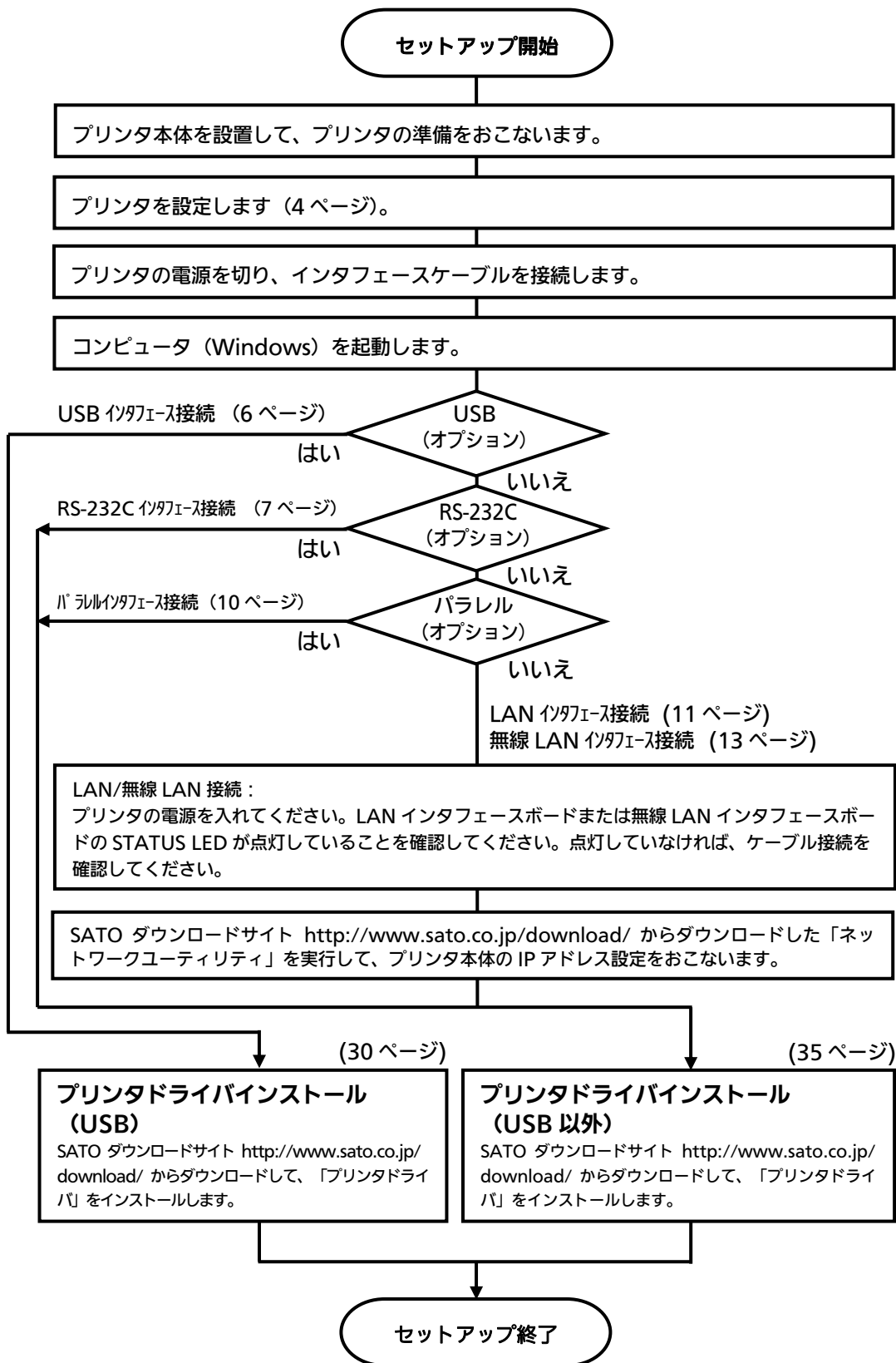
1. 安全上のご注意
2. ダウンロードガイド
3. 保証書
4. クリーニングペン
5. 電源コード/3極-2極変換アダプタ
6. リボン支管*1 ※リボン巻取りに使用します
7. ボリューム調整用ドライバ ※プリンタカバーに取り付けてあります

*1 MT400e シリーズは添付されていません。

- プリンタドライバ・プリンタ設定ツール、ネットワークユーティリティは、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> からダウンロードしてください。

注意 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

プリンタドライバをインストールするまでの作業手順



プリンタ本体の準備

準備 1. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。

準備 2. ご使用になるラベル、リボンをセットしてください。

準備 3. プリンタ本体の動作条件を設定してください。

設定 1. ディップスイッチ 2 (DSW2) を設定してください。


ディップスイッチ (DSW2) 設定表

NO	機能	説明
1	印字方式設定	ON : 感熱方式 OFF : 熱転写方式 (初期値)
2	センサ設定	ON : 未使用 OFF : 反射式 (アイマーク) (初期値)
3	ヘッドチェック	ON : 有効 (初期値) OFF : 無効
4	HEX ダンプモード	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
5	受信モード	ON : 1 アイテム受信 OFF : マルチ受信 (初期値) ※LAN 接続の場合は、ON ⇒ENQ 応答ステータス OFF⇒周期応答ステータス (初期値)
6	ダウンロードモード	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
7	工場設定用	通常OFF (変更しないでください)
8	印字領域設定	ON : 178mm (MT400e、MT410e、MR610e、 M-48Pro8、M-48Pro12、 M-48Pro24) 236mm (MR600e) OFF : 400mm (初期値) (MT400e、MT410e、MR600e、 MR610e、M-48Pro8、M-48Pro12、 M-48Pro24) ※MT/MR110w は「ON」「OFF」に関係なく 300mm と なります。

設定 2. ディップスイッチ 3 (DSW3) を設定してください。

プリンタの動作モードを設定します。詳しい内容は、取扱説明書をご覧ください。

設定 3. プリンタ本体の動作条件（ユーザーモード）を設定してください。



LINEキーを押しながら電源を入れてユーザーモードを起動してください。

「印字濃度レンジ」、「印字濃度」、「印字スピード」、「基点補正」、
「ゼロスラッシュ切替」、「漢字コード切替」、「漢字書体選択」、
「プロポーションアルピッチ切替」の各種設定をおこないます。

注意：詳しい内容は、取扱説明書をご覧ください。

準備 4. プリンタ本体の動作条件を設定後、電源を切ってください。



準備 5. プリンタの電源を入れてください。

（インタフェースケーブルは接続しないでください。）

- コンピュータに合わせた通信設定をおこなってください。
プリンタの設定をした後、プリンタドライバをインストールしてください。
- バーコードをイメージ（BMP など）で作成するツールにて作成し、当社プリンタにて印字出力した場合、スキャナなどで読取りできない場合があります。これらのツールはあくまでもバーコードをイメージとして作成するため、正しいデータにならない場合があります。このため、スキャナなどでバーコード読取りできない場合は、プリンタおよびプリンタドライバのバーコード不具合ではありません。これらのツールを使用された場合の読取りについては保証いたしませんのでご注意ください。

この内容はイメージでバーコードを印刷したときのトラブルを防ぐため、ホームページのドライバダウンロードサイトの注意書きとして掲載しています。

<http://www.sato.co.jp/download/notes.html>

- ヘッドチェックはヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。

USB インタフェース接続 (オプション)

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタの USB インタフェースに USB ケーブルを接続してください。



プリンタ背面



USB ケーブル接続

USB インタフェース仕様

USB ケーブルをコンピュータとプリンタに接続し、コンピュータの電源が入った状態でプリンタの電源を入れると USB インタフェースが選ばれます。

- USB 接続の場合、使用するプリンタドライバをコンピュータにインストールするまでは、USB ケーブルを接続した状態で、プリンタ本体の電源を入れしないでください。プリンタドライバのインストール方法は 30 ページ以降をご覧ください。
- USB ケーブルは、2 メートル長以内のケーブルを推奨しています。
- コンピュータに USB ポートが複数ある場合、ケーブルの接続箇所により、「出力デバイス名」が異なりますので、間違えないようにケーブルを接続してください。接続する USB ポートを変更する場合には、新たにプリンタドライバをインストールする必要があります。

注意 本プリンタの USB インタフェースは、64bit の OS には対応していません。32bit OS でご使用ください。

RS-232C インタフェース接続 (オプション)

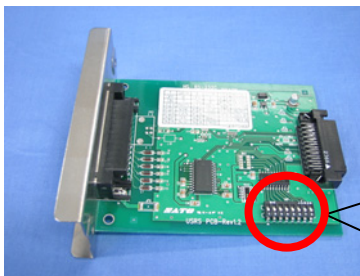
プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。
プリンタの RS-232C インタフェースに RS-232C ケーブルを接続してください。
RS-232C インタフェースボードのディップスイッチの設定を変更する場合、①プリンタの電源を切り、②RS-232C ケーブルを取り外し、③RS-232C インタフェースボードの取り付けネジを 2 本取り外し、④RS-232C インタフェースボードを取り外してからおこなってください。



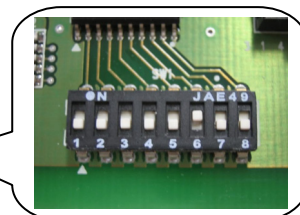
プリンタ背面



RS-232C ケーブル接続



RS-232C インタフェースボード



①②③④⑤⑥⑦⑧
ディップスイッチ (DSW)

ON
↑

RS-232C インタフェース仕様

- 通信速度 : 9600bps、19200bps、38400bps、57600bps
(初期値「19200bps」)
- データ長 : 7ビット、8ビット (初期値「8ビット」)
- ストップビット : 1ビット、2ビット (初期値「1ビット」)
- パリティビット : 無し、奇数、偶数 (初期値「無し」)
- 通信プロトコル : READY/BUSY (ER 制御)、XON/XOFF、ステータス 4、
ステータス 3、(初期値「READY/BUSY (ER 制御)」)

コンピュータの通信設定にあわせて、プリンタの通信設定をおこなってください。
通信設定は、インタフェースボードのディップスイッチ (DSW) で設定します。

RS-232C インタフェースボードのディップスイッチ (DSW)

NO	機能	説明															
1	データ長	ON : 7ビット OFF : 8ビット (初期値)															
2 3	パリティ設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW2</th> <th>DSW3</th> <th>パリティ設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>奇数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>偶数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>無し (初期値)</td> </tr> </tbody> </table>	DSW2	DSW3	パリティ設定	ON	ON	未使用	ON	OFF	奇数	OFF	ON	偶数	OFF	OFF	無し (初期値)
DSW2	DSW3	パリティ設定															
ON	ON	未使用															
ON	OFF	奇数															
OFF	ON	偶数															
OFF	OFF	無し (初期値)															
4	ストップビット	ON : 2ビット OFF : 1ビット (初期値)															
5 6	ボーレート	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW5</th> <th>DSW6</th> <th>ボーレート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>57600bps</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>38400bps</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>19200bps (初期値)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>9600bps</td> </tr> </tbody> </table>	DSW5	DSW6	ボーレート	ON	ON	57600bps	ON	OFF	38400bps	OFF	ON	19200bps (初期値)	OFF	OFF	9600bps
DSW5	DSW6	ボーレート															
ON	ON	57600bps															
ON	OFF	38400bps															
OFF	ON	19200bps (初期値)															
OFF	OFF	9600bps															
7 8	プロトコル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW7</th> <th>DSW8</th> <th>プロトコル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ステータス 4 (ステータス 3 DSW2-8 ON)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>XON/XOFF</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>READY/BUSY (初期値)</td> </tr> </tbody> </table>	DSW7	DSW8	プロトコル	ON	ON	未使用	ON	OFF	ステータス 4 (ステータス 3 DSW2-8 ON)	OFF	ON	XON/XOFF	OFF	OFF	READY/BUSY (初期値)
DSW7	DSW8	プロトコル															
ON	ON	未使用															
ON	OFF	ステータス 4 (ステータス 3 DSW2-8 ON)															
OFF	ON	XON/XOFF															
OFF	OFF	READY/BUSY (初期値)															

1. ケーブル結線図「サトー添付品（オプション）」



- RS-232C ケーブルは、設定された通信プロトコルによりケーブル結線が異なりますのでご注意ください。ケーブルを間違えると、正常に動作しません。
- RS-232C インタフェースの詳細については、お客さまヘルプデスク、または弊社営業担当にお問い合わせください。
- コンピュータとの通信設定があっていないと、通信エラーが発生し、正常に動作しません。
- プリンタドライバを使用するときには、必ず通信プロトコルを「ステータス 4」、受信モードを「マルチ受信」に設定してください。
- RS-232C ケーブルは、必ず推奨品の RS-232C ケーブルをお使いください。

パラレルインタフェース接続（オプション）

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタのパラレルインタフェースにパラレルケーブル（IEEE1284 準拠）を接続してください。



プリンタ背面



パラレルケーブル接続

- IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがありますので、必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブル（オプション）をお使いください。
- コンピュータが IEEE1284 をサポートしていない場合は、双方向通信ができません。「書き込みエラー」が発生した場合、プリンタドライバのプロパティの「ポート」の「双方向サポートを有効にする(E)」のチェックを外してください。
- コンピュータによっては、ECP モードの設定をおこなっても ECP 動作をおこなわない機種があります。詳しくは、コンピュータメーカーへお問い合わせください。

パラレルインタフェース仕様

IEEE1284 準拠：互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。

※ ECP モードは、コンピュータによってはサポートしていない場合があります。コンピュータのパラレルインタフェース仕様をご確認ください。

※ ECP モードは、コンピュータの BIOS 設定でおこないます。コンピュータによっては Windows 上のツール・ソフトを使用することもあります。

LAN インタフェース接続 (オプション)

プリンタの電源が切れているときにインタフェースケーブルを接続してください。

プリンタの LAN インタフェースに LAN ケーブルを接続してください。
LAN インタフェースボードのディップスイッチの設定を変更する場合、①プリンタの電源を切り、②LAN ケーブルを取り外し、③LAN インタフェースボードの取り付けネジを 2 本取り外し、④LAN インタフェースボードを取り外してからおこなってください。



プリンタ背面

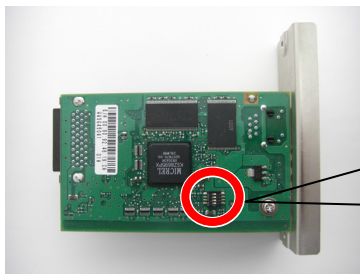
LINK10

LINK100

STATUS

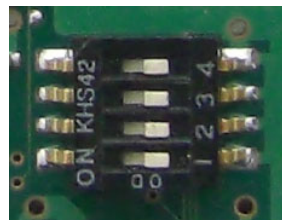


LAN ケーブル接続



LAN インタフェースボード

④
③
②
①



ON ←

ディップスイッチ (DSW)

LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW)

NO	機能	説明
1	未使用	OFF : 初期値
2	LAN インタフェースボード設定情報初期化	ON : 有効
		OFF : 無効 (初期値)
3	LAN インタフェースボード設定情報印字 (IP アドレスなどの設定情報を印字します)	ON : 有効
		OFF : 無効 (初期値)
4	LAN インタフェースボード自己診断印字 (LAN インタフェースボードの診断結果を印字します)	ON : 有効
		OFF : 無効 (初期値)

※ディップスイッチ (DSW) を ON にしてプリンタの電源を入れたときの動作です。
通常はすべて OFF に設定してください。

LAN インタフェースボードの LED

LED	機 能
STATUS	パケットを受信したときに点灯します。
LINK10	接続先を 10BASE-T と認識したときに点灯します。
LINK100	接続先を 100BASE-TX と認識したときに点灯します。

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信をおこないます。

LAN インタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた、通信条件の設定が必要です。プリンタ本体の IP アドレスを設定してください。

プリンタ本体の IP アドレスは、ネットワークユーティリティを使って設定します。

ネットワークユーティリティの使用方法は、17 ページ以降をご覧ください。

- ネットワークユーティリティを使うと、コンピュータからプリンタの IP アドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。
また、プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ（DSW3）を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字できます。

操作 プリンタに登録されている、IP アドレスなどの設定内容をプリンタから印字させるには、プリンタの電源を切って、プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ（DSW3）を ON にしてから電源を入れてください。

設定されている内容（IP アドレスなど）が印字されます。

注意 印字後は、プリンタの電源を切って、必ずディップスイッチ（DSW3）を OFF にしてください。

- スループットを速めたいときは、受信モードを「ENQ 応答ステータス」に設定してください。その際、プリンタ本体のディップスイッチ（DSW）と、プリンタドライバの設定を、両方必ず合わせてください。

ヒント

プリンタドライバでの「ENQ 応答ステータス」の設定方法



操作

- ① Windows のコントロールパネルから「デバイスとプリンター」を開きます。
- ② LAN 接続でインストールした本プリンタのプリンタドライバを右クリックし、「プリンタのプロパティ」を開きます。
- ③ 「ポート」タブの「ポートの構成（C）」をクリックすると、「SATO LAN ポートの設定」画面が表示されます。
- ④ 「ENQ 応答モード」のチェックボックスをチェックすると「ENQ 応答ステータス」に設定されます。チェックを外すと「周期応答ステータス」に切り替わります。

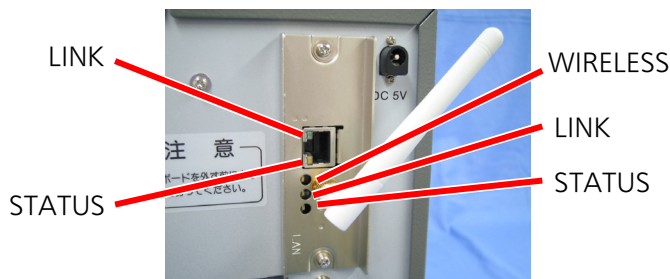
LAN インタフェース仕様

- ・ 10BASE-T / 100BASE-TX は自動認識します。
- ・ プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。
- ・ 全二重 / 半二重は自動認識します。

無線 LAN インタフェース接続 (オプション)

プリンタの無線 LAN インタフェースボードを確認してください。

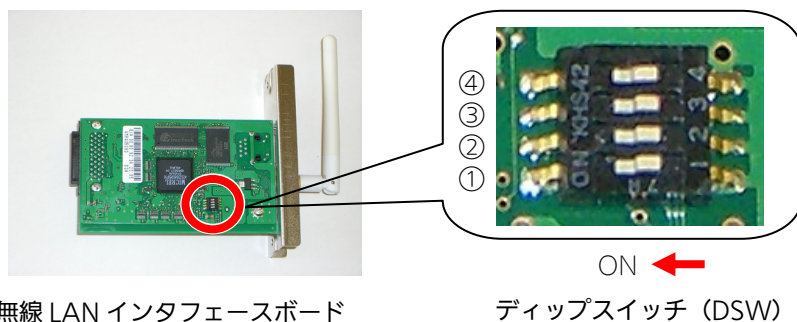
無線 LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW) の設定を変更する場合、
①プリンタの電源を切り、②LAN ケーブルを接続している場合は LAN ケーブルを取り外し、
③無線 LAN インタフェースボードの取り付けネジを 2 本取り外し、④無線 LAN インタフェースボードを取り外してからおこなってください。



無線 LAN インタフェース

- 受信モードの初期値は、「ENQ 応答ステータス」です。
- LAN インタフェースを使用する場合は、プリンタの電源を入れる前に LAN ケーブルを接続してください。プリンタの電源を入れた後に LAN ケーブルを接続しても、LAN インタフェースには切り替わりません。

無線 LAN インタフェースを使用する場合は、LAN ケーブルを接続せずに電源を入れてください。LAN ケーブルを接続して電源を入れた場合、LAN ケーブルを取り外しても無線 LAN インタフェースには切り替わりません。



無線 LAN インタフェースボード

ON ←
ディップスイッチ (DSW)

無線 LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW)

NO	機 能	
1	未使用	
2	無線 LAN インタフェースボードの設定情報を初期化	
3	無線 LAN インタフェースボードの設定情報を印字 (IP アドレスなどの設定情報を印字します)	
4	通信モード	ON : Infrastructure
		OFF: Ad Hoc (初期値)

※ ディップスイッチ (DSW) 1、2、3 は、ON にしてプリンタの電源を入れたときの動作です。無線 LAN インタフェースボードの通信モードの初期値は、「Ad Hoc」です。

※ 無線 LAN インタフェースボードを初期化する方法

- ① プリンタの電源が切れた状態で、無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ (DSW) 2 を「ON」にし、プリンタの電源を入れます。(約 10 秒間電源を入れた状態にします)
- ② プリンタの電源を切ります。
- ③ プリンタの無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ (DSW) 2 を「OFF」にし、プリンタの電源を入れます。

無線 LAN インタフェースの LED

無線 LAN インタフェース使用時

無線 LAN インタフェースボードの LED

LED	機 能
WIRELESS	Infrastructure モードで動作したときに点灯します。 Ad Hoc モードで動作したときに点滅します。
LINK	点灯 : アクセスポイントと接続中です。 点滅 : アクセスポイントと未接続です。
STATUS	パケットを受信したときに点灯します。

LAN コネクタの LED

LED	機 能
LINK	無線 LAN の電波強度 点灯 : 強 (75~100%) 点滅 : 中 (50~75%) 消灯 : 弱 (0 ~50%)
STATUS	消灯

LAN インタフェース使用時

無線 LAN インタフェースボードの LED

LED	機 能
WIRELESS	消灯
LINK	消灯
STATUS	消灯

LAN コネクタの LED

LED	機 能
LINK	点灯：LAN と接続中です。 点滅：LAN と未接続です。
STATUS	パケットを受信したときに点灯します。

無線 LAN インタフェース仕様

規格	IEEE802.11b/g 準拠
通信速度	自動切替
IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
IEEE802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1Mbps
通信距離	通信距離は、使用環境により変動します
通信モード	Infrastructure/ Ad Hoc
通信チャンネル	
Infrastructure	1～13
Ad Hoc	1～13 (初期値: 11)
認証方式	Open System Shared Key WPA WPA2 IEEE802.1x 認証 (LEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-PEAP、EAP-FAST)
暗号方式	なし WEP (Open System、Shared Key、802.1x) TKIP (WPA-PSK/WPA2-PSK、WPA-802.1x/WPA2-802.1x) AES (WPA-PSK/WPA2-PSK、WPA-802.1x/WPA2-802.1x)

プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

無線 LAN インタフェースの通信モードはディップスイッチ (DSW) にて指定します。

- Atheros SuperG、XR 機能には対応していません。
- プリントドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信をおこないます。
- 無線 LAN インタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた、通信条件の設定が必要です。プリンタ本体の IP アドレスを設定してください。
プリンタ本体の IP アドレスは、ネットワークユーティリティを使って設定します。
ネットワークユーティリティの使用方法は、17 ページ以降をご覧ください。
- ネットワークユーティリティを使うと、コンピュータからプリンタの IP アドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。
また、プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ（DSW3）を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字できます。
操作 プリンタに登録されている、IP アドレスなどの設定内容をプリンタから印字させるには、プリンタの電源を切って、プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ（DSW3）を ON にしてから電源を入れてください。
設定されている内容（IP アドレスなど）が印字されます。
注意 印字後は、プリンタの電源を切って、必ずディップスイッチ（DSW3）を OFF にしてください。
- プリントドライバを使用されるときは、必ず受信モードを「ENQ 応答ステータス」に設定してください。

3. LAN／無線 LAN インタフェース設定

はじめに

ネットワークユーティリティ (AdminManager) は、サトー製プリンタ専用のネットワーク環境設定ソフトです。

ネットワークユーティリティとは、こんなソフトです。

LAN に接続されたサトー製プリンタを検索できます。

検索されたプリンタを選んで、IP アドレスなどのネットワークに関する設定ができます。

設定状態をプリンタから用紙に印字できます。

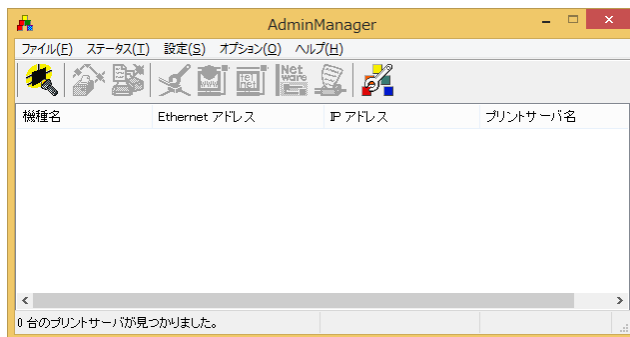
① プリンタ本体を確認してください

LAN インタフェースの場合、プリンタに LAN ケーブルを接続し電源を入れてください。無線 LAN インタフェースをご使用される場合でも、LAN インタフェースで接続し、無線 LAN の設定が可能です。

プリンタの LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの STATUS LED が点灯しているか確認してください。

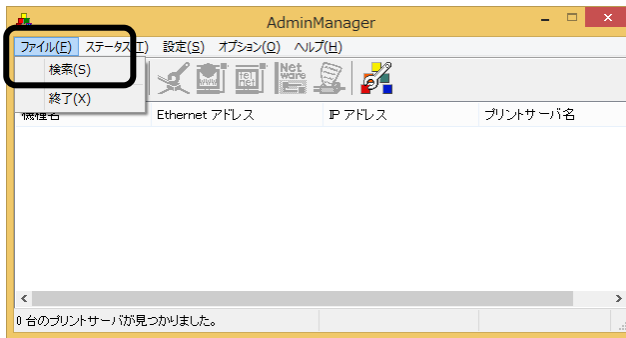
② ネットワークユーティリティを起動します

1. SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> から「ネットワークユーティリティ(AdminManager)」をダウンロードします。
2. 「AdminManager_V320.exe」を実行して、ファイルを解凍します。
3. 「AdminManager_V320」フォルダ内の「AdminManager.exe」を実行するとネットワークユーティリティ「AdminManager」が起動します。

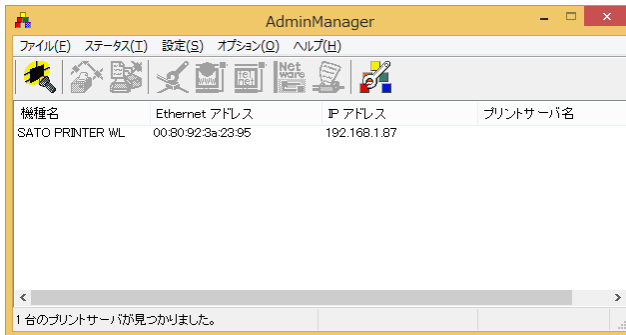


③ プリンタに IP アドレスを設定します まず、設定をおこなうプリンタを検索します。

1. 「ファイル(E)」メニューから「検索(S)」をクリックします。



2. 検索されたプリンタの一覧が表示されます。



注意 プリンタが検索されない場合は、再度「検索(S)」ボタンをクリックしてください。また、以下のことを確認してください。

- ・プリンタの電源を確認してください。
- ・プリンタの LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの STATUS LED が点灯していることを確認してください。
- ・ご使用のコンピュータがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
- ・コンピュータとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。
- ・無線 LAN インタフェースの通信モード、設定内容を確認してください。
- ・ご使用のコンピュータが、Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、検索ができない場合があります。その際には、無効にしてください。

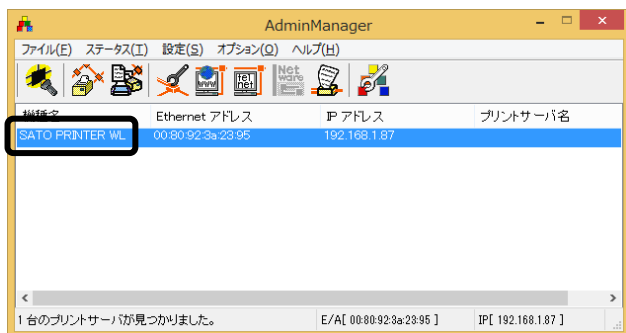
ヒント

Windows 7 以降の OS をご使用の場合、LAN/無線 LAN インタフェースボードの MAC アドレス (Ethernet アドレス) を利用して、IP アドレスを設定することができます。

操作

- ① 「AdminManager_V320」フォルダ内の「Ipsetup.exe」を実行します。
- ② 「IP アドレス設定」画面で「Ethernet アドレス」と「IP アドレス」を入力します。
※ 「Ethernet アドレス」は、インタフェースボードに記載されています。
- ③ 「OK」をクリックすると、プリンタに IP アドレスを登録します。
- ④ 登録が完了するとメッセージが表示されますので、「はい (Y)」をクリックしてプリンタを再起動してください。

3. 設定するプリンタをクリックしてください。



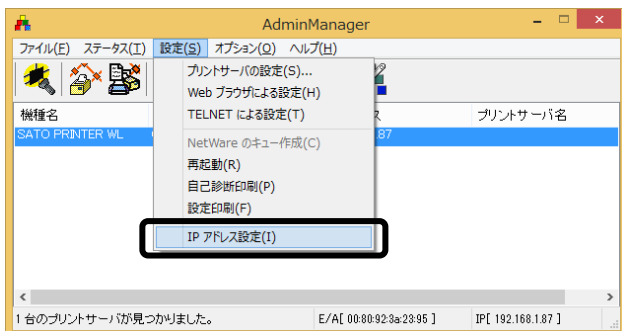
注意 「検索(S)」をクリックするタイミングにより、検索できない場合があります。繰り返し検索をおこなっても検索できないときは、LAN インタフェースボードの初期化をおこなってください。LAN インタフェースボードの初期化については、21 ページのヒントをご覧ください。

画面は無線 LAN インタフェースボードをセットしたプリンタを検索した場合です。

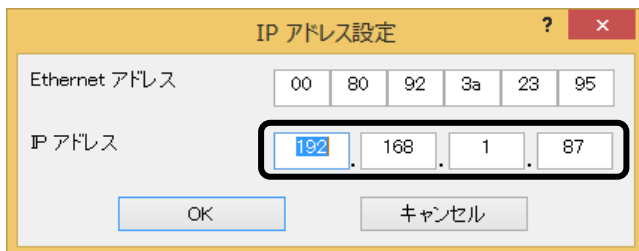
LAN インタフェースボードをセットしている場合、機種名表示が「SATO PRINTER」、無線 LAN インタフェースボードをセットしている場合には「SATO PRINTER WL」が表示されます。

4. プリンタの IP アドレスを設定します。

「設定(S)」メニューから「IP アドレス設定(I)」をクリックします。



5. IP アドレスを入力します。



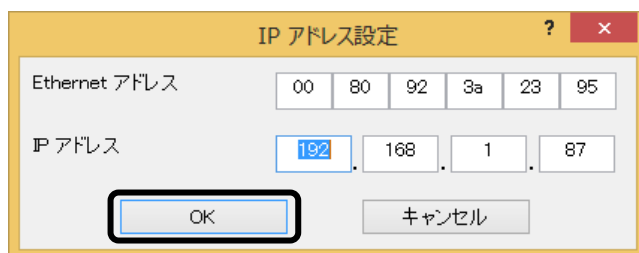
IP アドレス設定

Ethernet アドレス 00 80 92 3a 23 95

IP アドレス 192 168 1 87

OK キャンセル

6. IP アドレスを入力後、「OK」をクリックするとプリンタに IP アドレスを登録します。

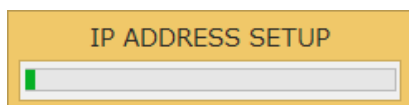


IP アドレス設定

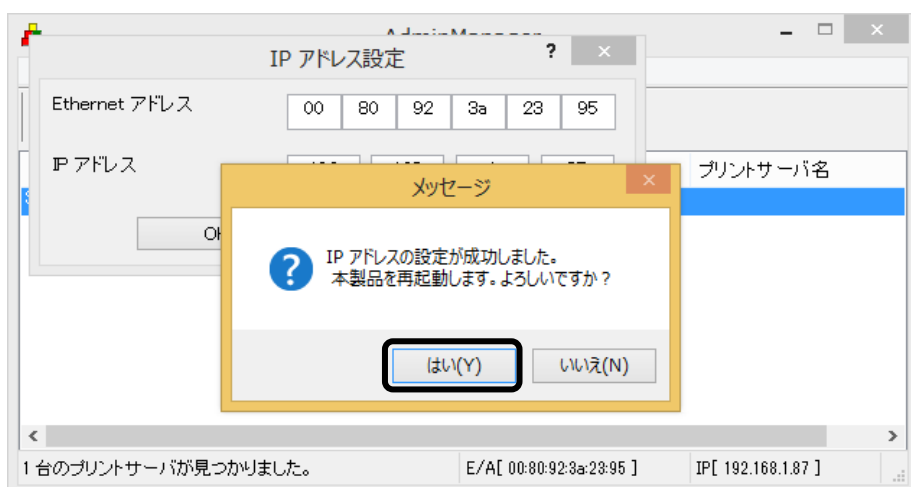
Ethernet アドレス 00 80 92 3a 23 95

IP アドレス 192 168 1 87

OK キャンセル



7. IP アドレスの登録を完了すると「IP アドレスの設定が成功しました。本製品を再起動します。よろしいですか?」のメッセージを表示します。「はい(Y)」をクリックしてください。



IP アドレス設定

Ethernet アドレス 00 80 92 3a 23 95

IP アドレス

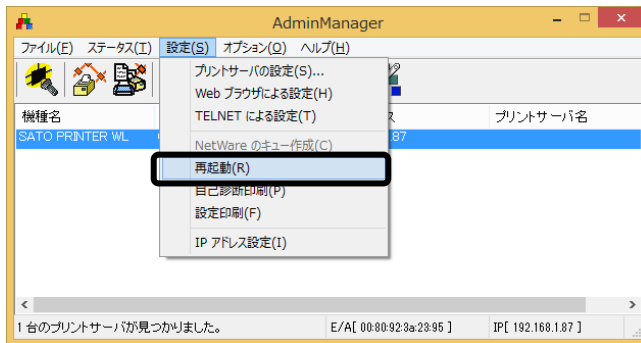
メッセージ

IP アドレスの設定が成功しました。
本製品を再起動します。よろしいですか?

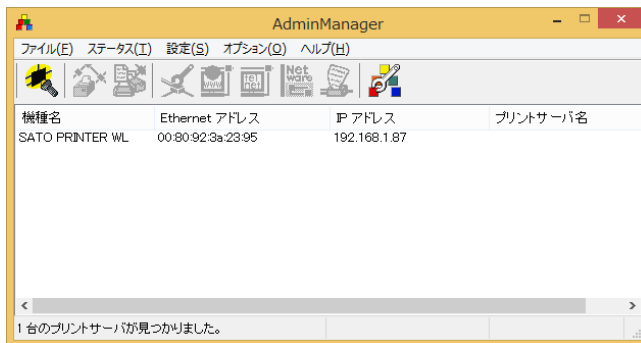
はい(Y) いいえ(N)

1 台のプリントサーバが見つかりました。 E/A[00:80:92:3a:23:95] IP[192.168.1.87]

8. 「設定(S)」から「再起動(R)」を選んで、LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードをリセットします。



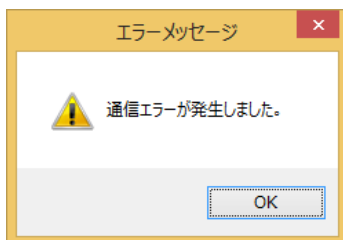
選択されたプリンタのインタフェースボードをリセットします。
設定された IP アドレスのプリンタが表示されたら、プリンタの IP アドレス設定は完了です。
サブネットマスクなどの設定をおこなう場合、22 ページの「その他の設定」をご覧ください。



ヒント

IP アドレスを設定する際に下記のエラーメッセージが表示された場合の対処方法

※IP アドレスを設定するコンピュータとプリンタの IP アドレスが同一セグメントに設定されていない場合、下記のエラーメッセージが表示されます。



操作

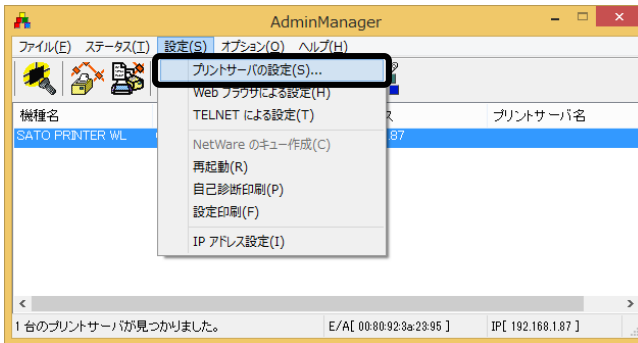
※LAN インタフェースボードの初期化をおこないます。

- ① プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ (DSW 2) を「ON」にし、プリンタの電源を入れます。(約 10 秒間電源を入れた状態にします)
- ② プリンタの電源を切ります。
- ③ プリンタの LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ (DSW 2) を「OFF」にし、プリンタの電源を入れます。
- ④ ネットワークユーティリティの「検索」からやり直して、IP アドレスを設定してください。

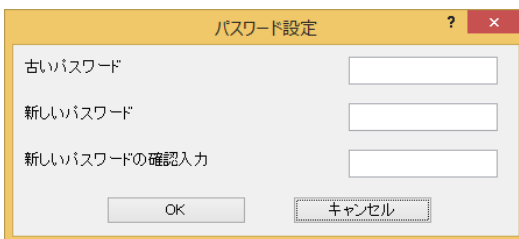
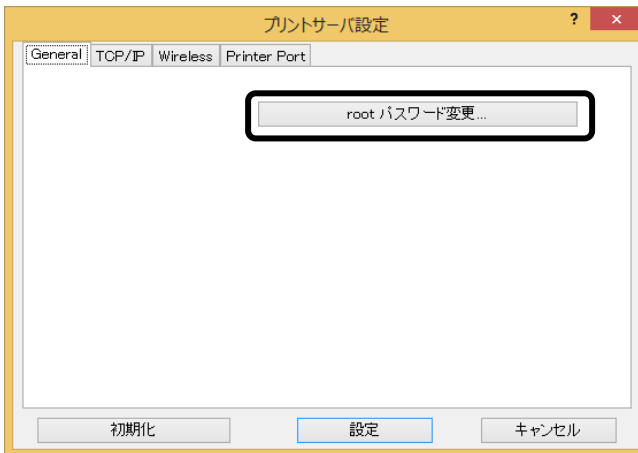
※ コンピュータに設定されている IP アドレスを確認し、再度 IP アドレスを設定してください。

④ その他の設定

1. 「設定(S)」 「プリントサーバの設定(S)」 をクリックします。

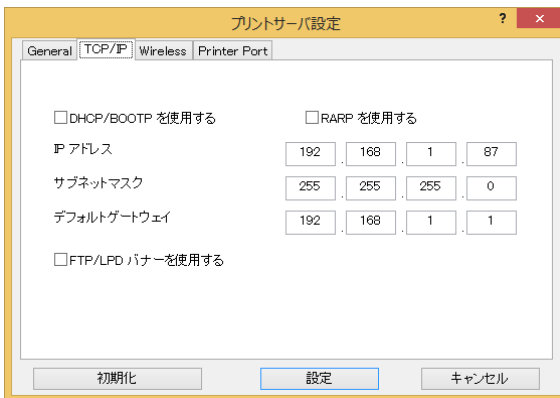
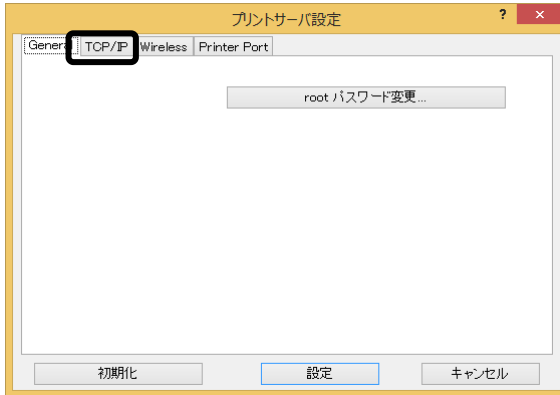


2. root パスワードの設定
「root パスワード変更」 をクリックします。



- ① パスワードの設定
任意の英数文字列を最大7文字設定できます。(初期値は無しです。)
パスワードを設定するためには、「古いパスワード」、「新しいパスワード」、
「新しいパスワードの確認入力」のすべての入力が必要です。

3. TCP/IP の設定



LAN 設定の初期値	
RARP	有効
DHCP	有効
IP アドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0

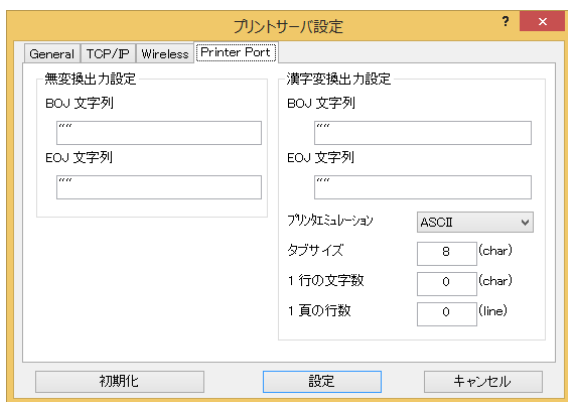
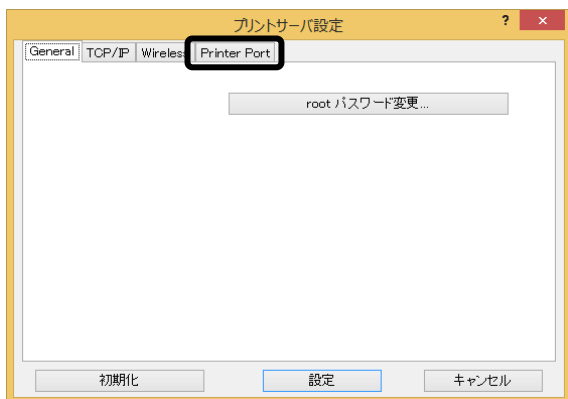
- ① 「DHCP/BOOTP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とするため、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定はできません。
IP アドレスなどを設定する場合、「DHCP/BOOTP を使用する」のチェックを外してください。
- ② 「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、MAC アドレスから IP アドレスを認識します。
MAC アドレスから IP アドレスを認識するため、IP アドレスの設定はできません。
IP アドレスを設定する場合、「RARP を使用する」のチェックを外してください。
- ③ 「IP アドレス」の指定ができます。「サブネットマスク」の指定ができます。
- ④ 「デフォルトゲートウェイ」の指定ができます。
- ⑤ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックボックスにチェックすると、バナーページを印刷できます。
チェックが外れている（機能が無効である）ことを確認し、設定してください。

4. 無線設定

「Wireless」をクリックします。無線 LAN の通信モードは、無線 LAN インターフェイスボードのディップスイッチ（DSW）4 を OFF に設定すると「Ad Hoc」モード、ディップスイッチ（DSW）4 を ON に設定すると「Infrastructure」モードです。無線 LAN の設定は、Web ブラウザでおこないます。25 ページの「6.Web 設定」をご覧ください。

5. Printer Port の設定

「Printer Port」をクリックします。



① 無変換出力設定

印字の開始に付加する無変換文字列「BOJ 文字列」、印字の終了に付加する無変換文字列「EOJ 文字列」を設定できます。

注意 通常は、設定しないでください。

② 漢字変換出力設定

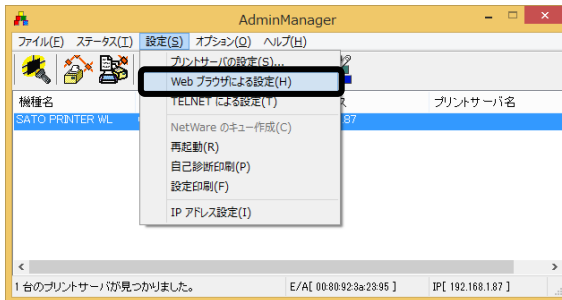
印字の開始に付加する漢字変換文字列「BOJ 文字列」、印字の終了に付加する漢字変換文字列「EOJ 文字列」を設定できます。

また、漢字変換出力時の「プリンタエミュレーション」、「タブサイズ」、「1 行の文字数」、「1 頁の行数」を設定できます。

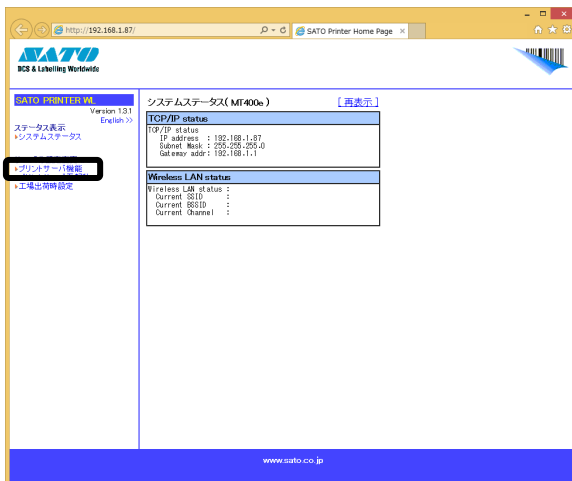
注意 通常は、設定しないでください。

6. WEB 設定

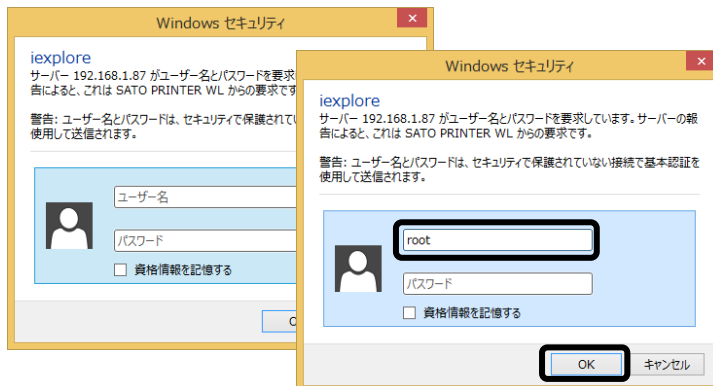
無線 LAN インタフェースボードの設定を WEB ブラウザにておこなうことができます。
「Web ブラウザによる設定(H)」をクリックします。



無線 LAN インタフェースボードの WEB 画面を表示します。
「プリントサーバ機能」をクリックします。



ネットワークパスワードの入力画面を表示しますので、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックします。初期値は、ユーザー名「root」、パスワードは無しです。



無線 LAN インタフェースボードの設定画面を表示します。

① TCP/IP の設定

[TCP/IP] をクリックします。

項目名	設定値	設定できる値
TCP/IP プロトコル	ENABLE	一覧より選択
IP アドレス	192.168.1.87	IPアドレス
サブネットマスク	255.255.255.0	IPアドレス
ゲートウェイ	192.168.1.1	IPアドレス
RARP	DISABLE	一覧より選択
DHCP/BOOTP	DISABLE	一覧より選択
root パスワード	*****	7文字以下の文字列(スワード)

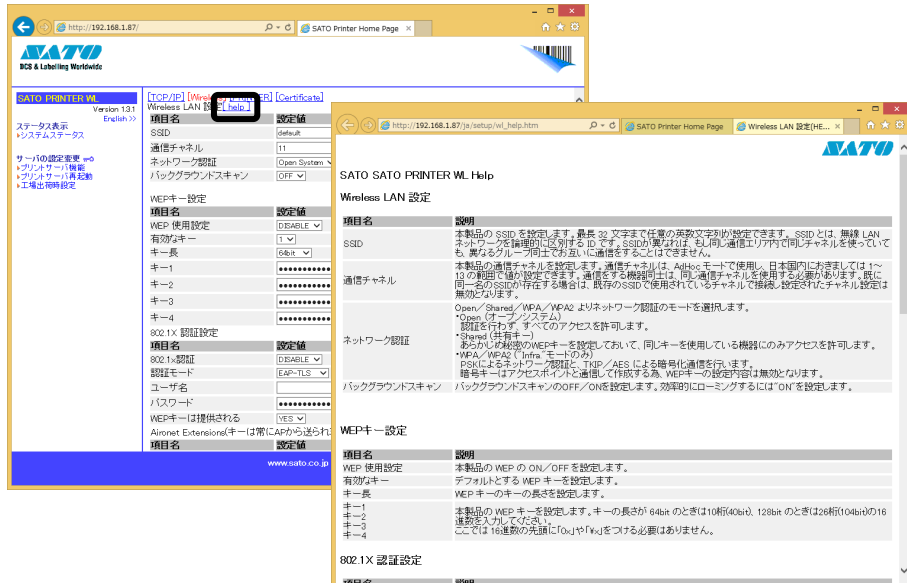
TCP/IP 設定画面では、「TCP/IP プロトコル」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「RARP」、「DHCP/BOOTP」、「root パスワード」の設定をおこなうことができます。

② 無線 LAN の設定

[Wireless] をクリックします。

項目名	設定値	設定できる値
SSID	default	32文字以下の文字列
通信チャネル	11	1 - 13の整数値
ネットワーク認証	Open System	一覧より選択
バックグラウンドスキャン	OFF	一覧より選択
WEP キー設定		
WEP 使用設定	DISABLE	一覧より選択
有効なキー	13	一覧より選択
キー長	13	一覧より選択
キー-1	*****	26文字以下の文字列(スワード)
キー-2	*****	26文字以下の文字列(スワード)
キー-3	*****	26文字以下の文字列(スワード)
キー-4	*****	26文字以下の文字列(スワード)
802.1X 認証設定		
802.1x 認証	DISABLE	一覧より選択
認証モード	EAP-TLS	一覧より選択
ユーザ名		64文字以下の文字列
パスワード	*****	32文字以下の文字列(スワード)
WPA/WPA2 設定		
WPAモード	PSK	一覧より選択
WPAモード	TKIP	一覧より選択
802.1X - TTLS 設定		
内部認証方式	PAP	一覧より選択
サーバ証明書の検証	OFF	一覧より選択
802.1X - PEAP 設定		
内部認証方式	MSCHAPv2	一覧より選択
サーバ証明書の検証	OFF	一覧より選択
802.1X - FAST 設定		
PAOファイル自動配布	OFF	一覧より選択

無線 LAN 設定画面では、「SSID」、「通信チャンネル」、「ネットワーク認証」、「WEP キー設定」、「802.1X 認証設定」、「Aironet Extensions」、「WPA/WPA2 設定」、「WPA-PSK 設定」、「WPA 802.1X 設定」、「802.1X - TTLS 設定」、「802.1X - PEAP 設定」、「802.1X - FAST 設定」の設定をおこなうことができます。
各設定項目の詳細については、[help] をご覧ください。



認証方式と暗号化方式の組合せ

Ad Hoc モード

ネットワーク認証	暗号化方式
Open System	なし/WEP
Shared Key	WEP

Infrastructure モード

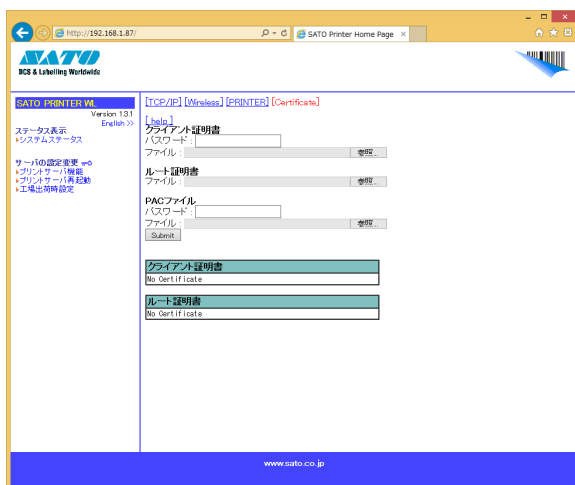
ネットワーク認証	認証モード	暗号化方式
Open System	LEAP	なし/WEP
	TLS	なし/WEP
	TTLS	なし/WEP
	PEAP	なし/WEP
	FAST	なし/WEP
Shared Key	—	WEP
WPA/WPA2	PSK	TKIP/AES
	EAP-TLS	
	EAP-LEAP	
	EAP-TTLS	
	EAP-PEAP	
	EAP-FAST	

③ Printer Port の設定
[PRINTER] をクリックします



Printer Port 設定画面では、「BOJ 文字列」、「EOJ 文字列」、「BOJ 文字列（漢字）」、「EOJ 文字列（漢字）」、「プリンタ選択」、「タブサイズ」、「1 行の文字数」、「1 ページの行数」、「lpr/ftp バナー」の設定をおこなうことができます。

④ 証明書の設定
[Certificate] をクリックします。

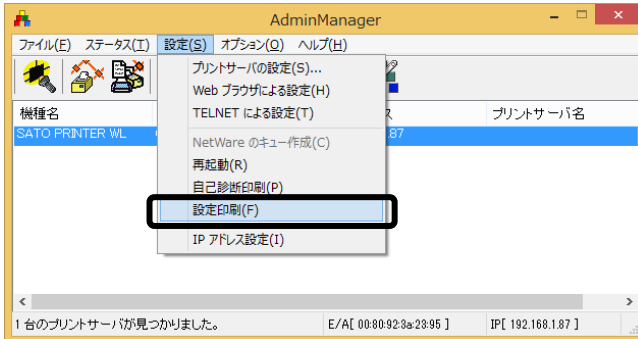


証明書設定画面では、「クライアント証明書」、「ルート証明書」の設定をおこなうことができます。

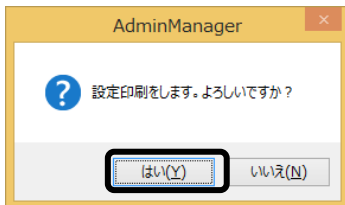
注意 証明書のインポートは、WEB 設定画面でのみ設定できます。
クライアント証明書は、PKCS#12 形式で拡張子「.p12」のファイルが利用可能です。
ルート証明書は、X.509 形式で拡張子「.der」または「.pem」のファイルが利用可能です。

⑤ プリンタから IP アドレスなどの設定情報を印字させるには

1. 「設定(S)」メニューから「設定印刷(F)」をクリックします。



2. 「はい(Y)」をクリックすると設定内容が印字されます。



LAN インタフェースボードまたは無線 LAN インタフェースボードの設定印刷では、TCP/IP 設定、無線 LAN 設定、プリンタポート設定の各設定が印字されます。

4. プリンタドライバのインストール方法（USB）

※ USB 以外のプリンタドライバのインストールは 35 ページ以降をご覧ください。

注意 インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

プリンタの電源を切り、USB ケーブルをコンピュータに接続します。

プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。

プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信を有効にしてご使用ください。

複数台のプリンタをご使用になる場合は、個々のプリンタを識別するために台数分のプリンタドライバをインストールする必要があります。

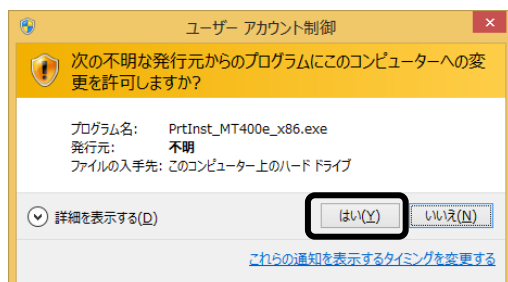
注意 ご使用のコンピュータに複数の USB ポートがある場合、プリンタドライバのインストール時に使用したポートから接続を変更すると、プリンタが使えなくなります。接続する USB ポートを変更する場合は、再度プリンタドライバをインストールしてください。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。

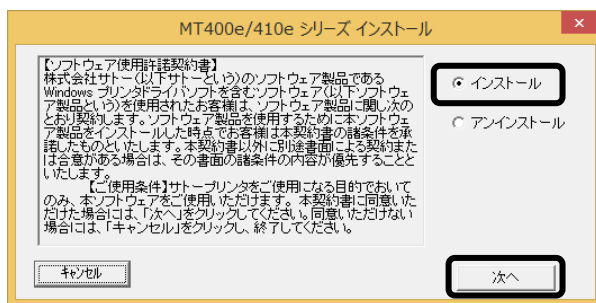
Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

注意 本プリンタの USB インタフェースは、64bit の OS には対応していません。32bit OS でご使用ください。

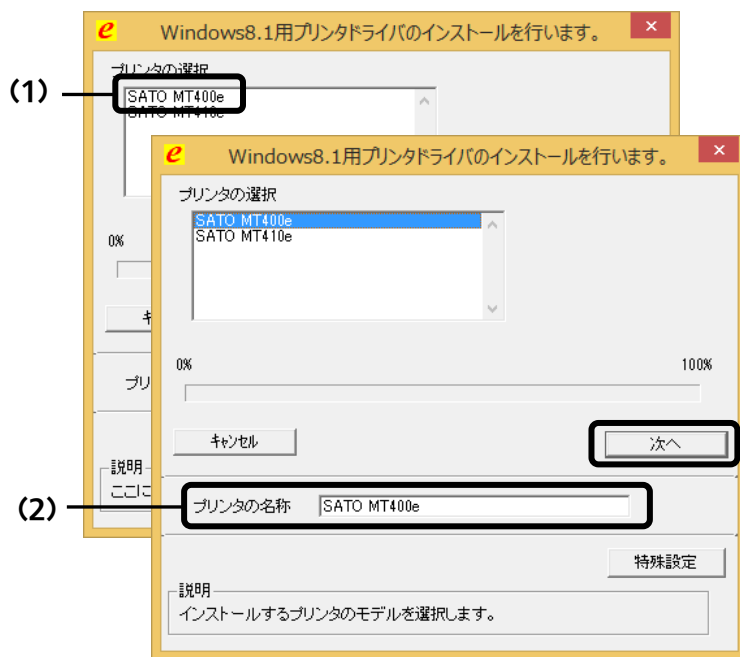
- ① プリンタの電源が切れていることを確認して、Windows を起動します。
- ② SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> から「プリンタドライバ・プリンタ設定ツール」をダウンロードします。
- ③ 「MT400e-v11_0_0_10-32bit.exe」を実行して、インストーラーを解凍します。
- ④ 「PrtInst_MT400e_x86.exe」を実行して、インストーラーを起動します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



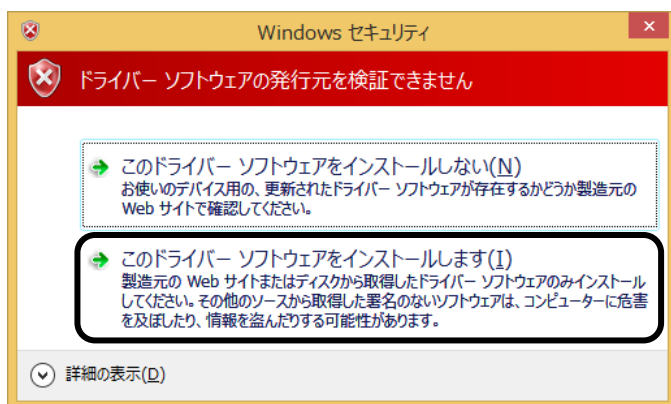
- ⑥ 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



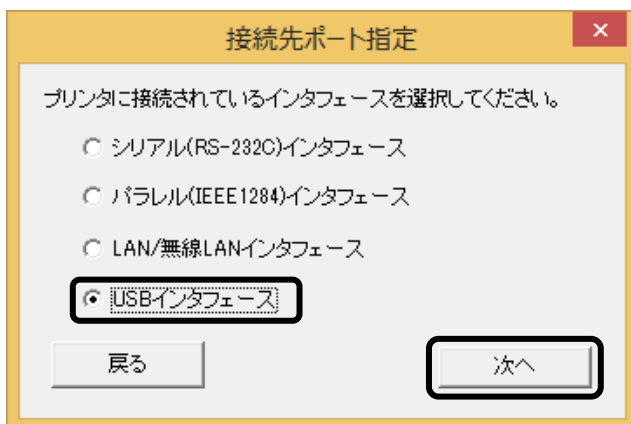
- ⑦ 使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



- ⑧ 「Windows セキュリティ」画面が表示されます。
「このドライバー ソフトウェアをインストールします(I)」を選びます。
(Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008 ではメッセージ内容が異なる場合があります。)



- ⑨ 「接続先ポート指定」画面が表示されます。
「USB インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



- ⑩ 以下のメッセージが表示されたら、プリンタの電源を入れます。

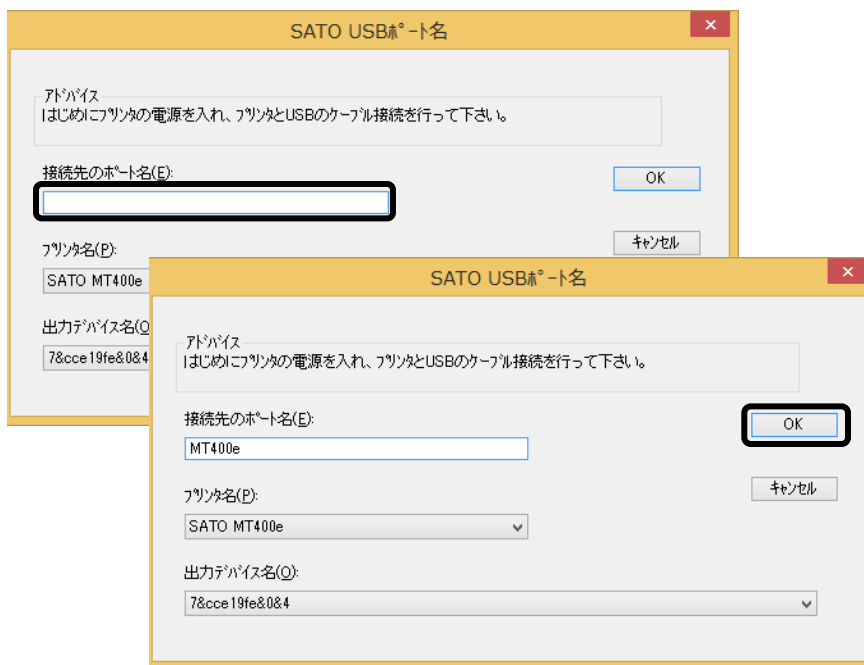


⑪ 「OK」をクリックします。



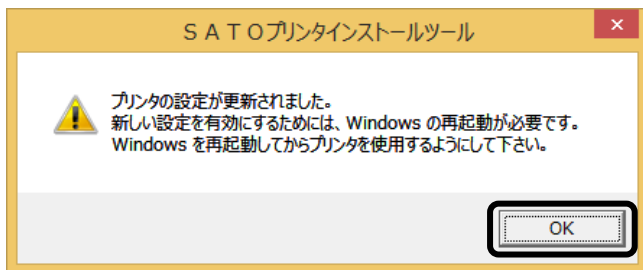
※ この画面が表示されない場合、古いバージョンのプリンタドライバがインストールされている可能性があります。一度、プリンタドライバをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

⑫ 「接続先のポート名(E)」に任意のポート名を入力し、「OK」をクリックします。

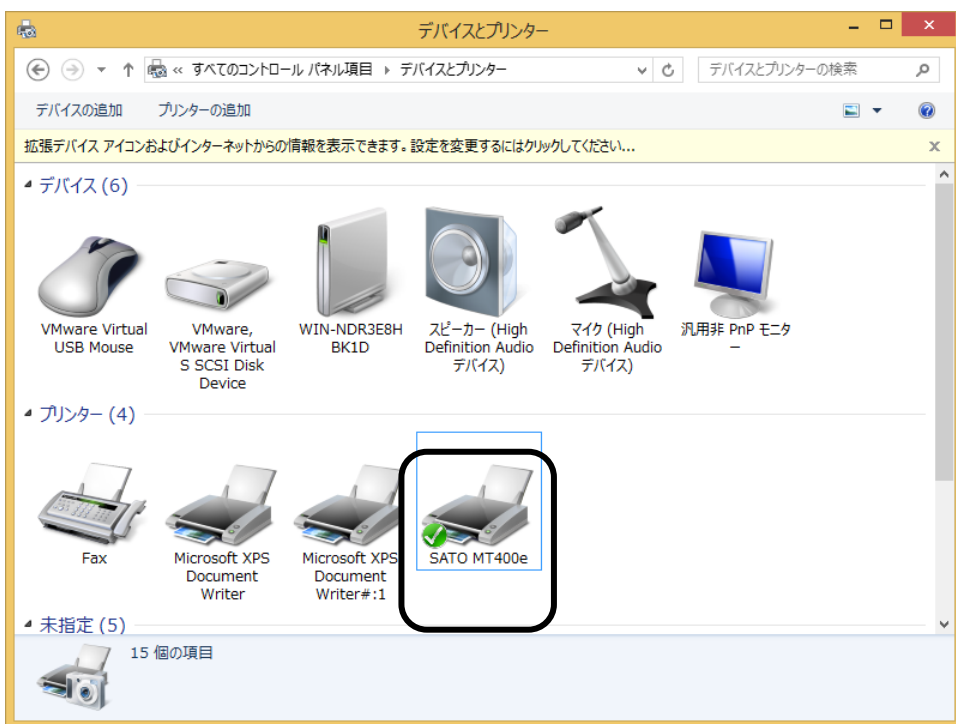


注意 2 台目以降のプリンタドライバをインストールする場合、「出力デバイス名(Q)」で、接続しているUSBポートの「出力デバイス名」を選んでください。

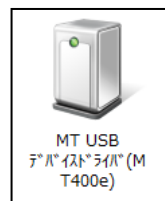
- ⑬ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



- ⑭ 「デバイスとプリンター」を開き、プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。



注意 USB 接続でプリンタドライバをインストールした場合、「未指定」に本プリンタのデバイスドライバ（機種名）のアイコンが表示されます。特に問題ありませんので、操作や設定の必要はありません。

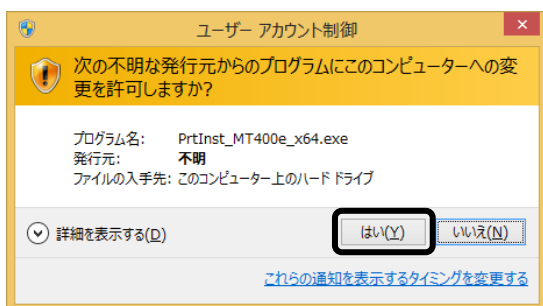


5. プリンタドライバのインストール方法（USB 以外）

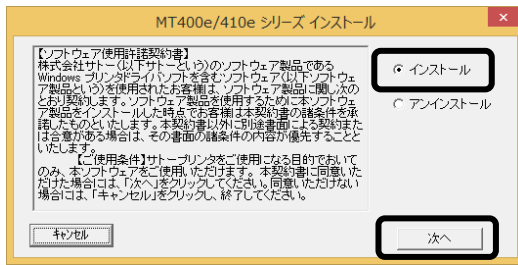
※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。
Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では
画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

注意 インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。
プリンタの電源を切り、インタフェースケーブルをコンピュータと接続します。
プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、
Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信を有効にしてご利用ください。
Windows Server OS でターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサー
ビスをインストールモードにしてください。
ただし、ターミナルサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証しておりま
せんので、ご注意ください。

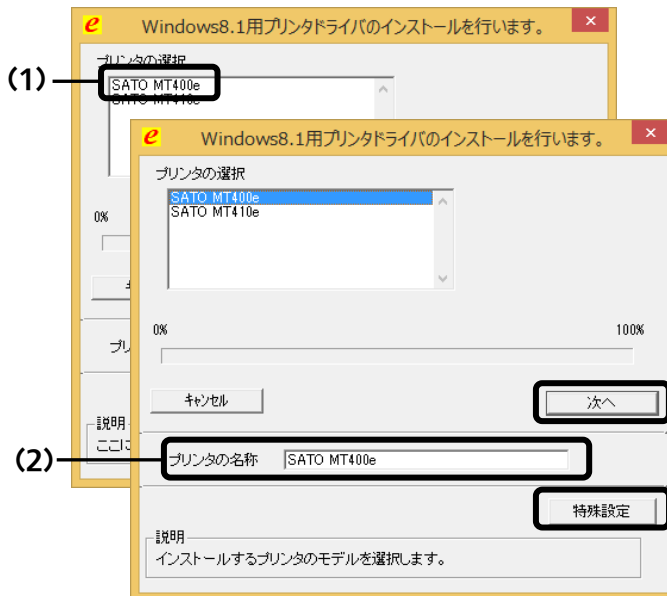
- ① プリンタの電源が切れていることを確認して、Windows を起動します。
- ② SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> から「プ
リンタドライバ・プリンタ設定ツール」をダウンロードします。
- ③ 「MT400e-v11_0_0_10-64bit.exe」を実行して、インストーラーを解凍しま
す。
※ x86 版 OS (32bit 版 OS) の場合は、「MT400e-v11_0_0_10-32bit.exe」
を実行します。
- ④ 「PrtInst_MT400e_x64.exe」を実行して、インストーラーを起動します。
※ x86 版 OS (32bit 版 OS) の場合は、「PrtInst_MT400e_x86.exe」を実
行します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリッ
クします。



- ⑥ 「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで同意していただけたら、「インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



- ⑦ 使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。

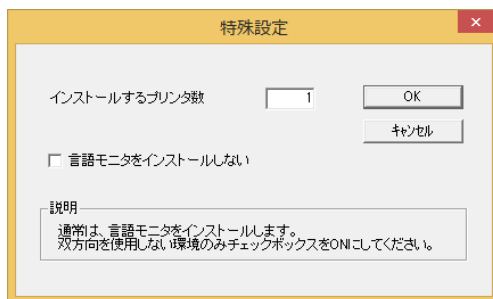


- (1) 【プリンタの選択】
インストールするプリンタを選びます。

- (2) 【プリンタの名称】
プリンタドライバの名称を入力できます。

※複数のプリンタドライバをインストールする場合は、「特殊設定」ボタンをクリックします。

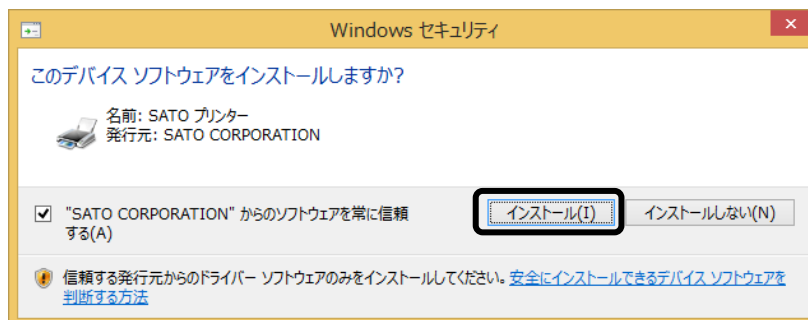
特殊設定画面



【特殊設定】

- インストールするプリンタ数
プリンタドライバを複数インストールする場合、インストールするプリンタ数を入力します。
- 言語モニタをインストールしない
双方向サポートを使用しない場合、チェックボックスをチェックします。

- ※ Windows Vista 以降の環境でインストールする場合、下記の Windows セキュリティメッセージが表示されます。
「インストール(I)」をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。
(Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 ではメッセージ内容が異なる場合があります。)

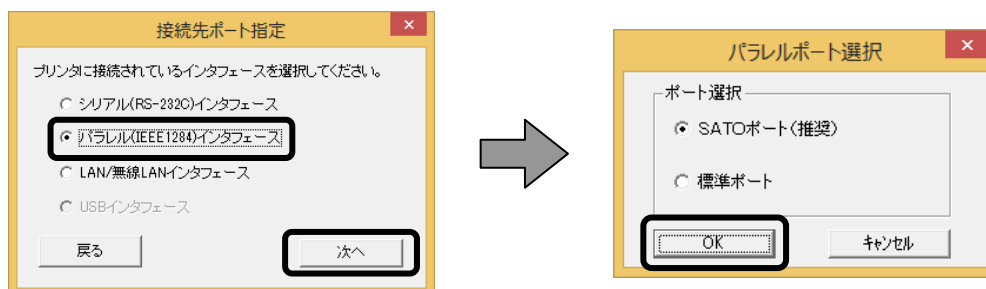


- ⑧ ご使用のインタフェースに合わせて以下のページをご覧ください。
- ・パラレルインタフェース (☞38 ページ)
 - ・RS-232C インタフェース (☞39 ページ)
 - ・LAN/無線 LAN インタフェース (☞40 ページ)

- ※ LPT ポート、USB ポートの接続の場合、「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示されることがあります。そのときは、画面の右上の「X」、または「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

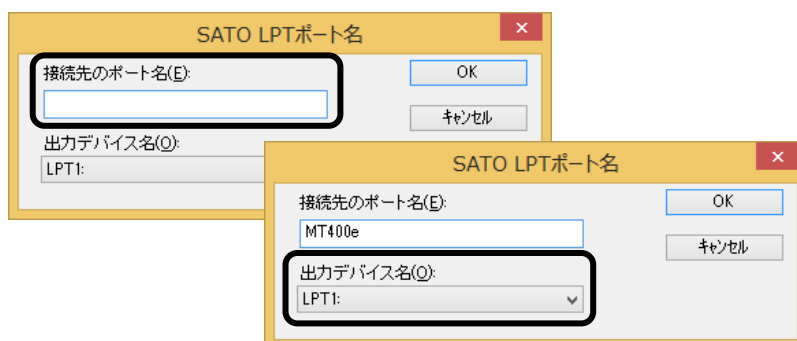
パラレルインタフェースのインストール

- ⑨ 「パラレル(IEEE1284)インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

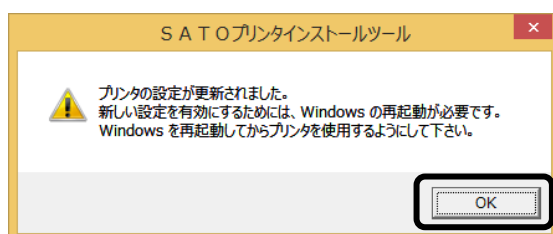


- ※ 「SATO ポート(推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックすると、⑩に進みます。
- ※ 「標準ポート」を選び、「OK」をクリックすると⑪に進みます。
- ※ 標準ポートは「LPT1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑩ 「接続先のポート名(E)」に任意のポート名を入力します。
「出力デバイス名(Q)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑪ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。



- ⑫ プリンタをパラレルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。

- ⑬ Windowsを再起動します。

RS-232C インタフェースのインストール

- ⑨ 「シリアル (RS-232C) インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。「SATO ポート(推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

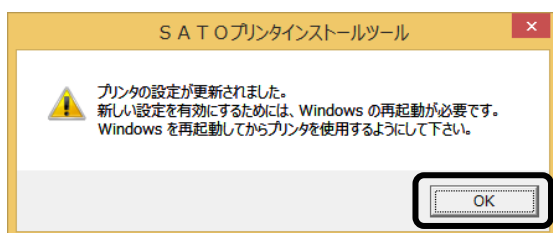


- ※ 「SATO ポート(推奨)」を選び「OK」ボタンをクリックすると、⑩に進みます。
- ※ 「標準ポート」を選び「OK」ボタンをクリックすると、⑪に進み、インストールが完了します。
- ※ 標準ポートは「COM1」でインストールします。標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑩ 「接続先のポート名(E)」に任意のポート名を入力します。「出力デバイス名(Q)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



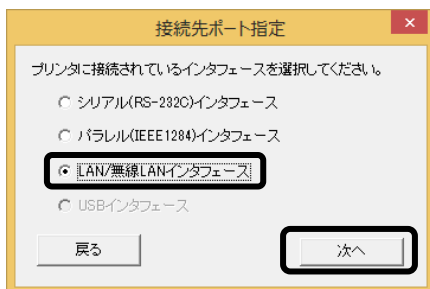
- ⑪ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



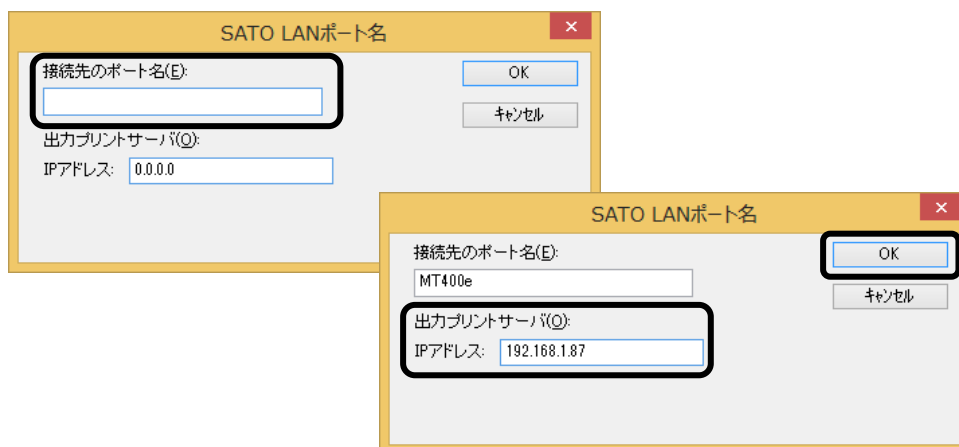
- ⑫ プリンタをシリアルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。
- ⑬ Windows を再起動します。

LAN/無線 LAN インタフェースのインストール

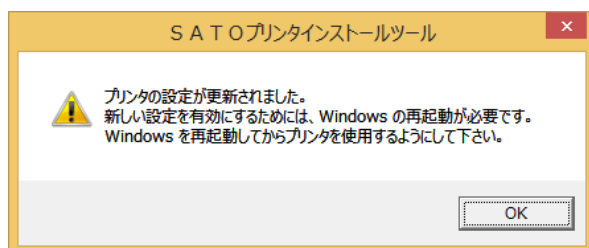
- ⑨ 「LAN/無線 LAN インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑩ 「接続先のポート名(E)」を入力します。
「IP アドレス」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑪ 「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



6. ラベル発行までの流れ

アプリケーションソフトから作成したレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認します。

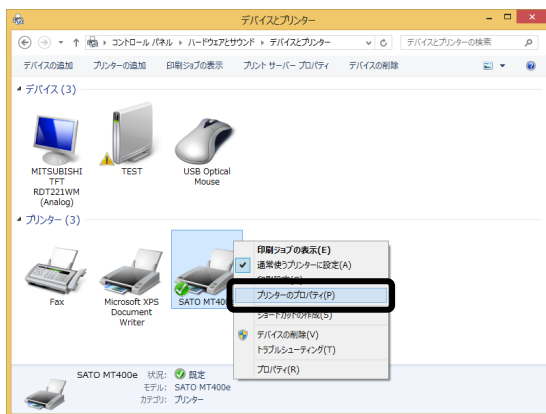
※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。

Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。


① プリンタドライバの設定シートを開きます。

※ Windows Vista の場合、プリンタドライバのプロパティ画面を開くときは、「管理者として実行(A)」を選んでください。「管理者として実行(A)」を選ばずに設定すると、設定した値が有効になりません。ご注意ください。

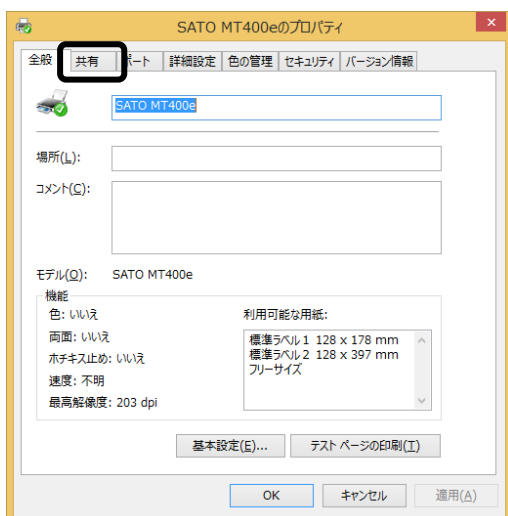
1. 「デバイスとプリンター」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンを右クリックしてください。「プリンターのプロパティ(P)」を選んでください。プリンタドライバのプロパティが開きます。



ヒント

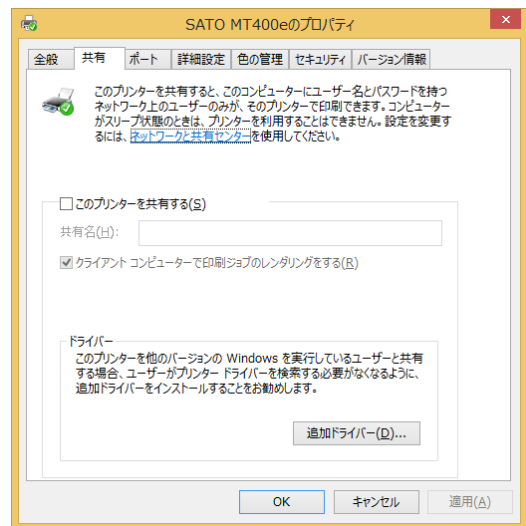
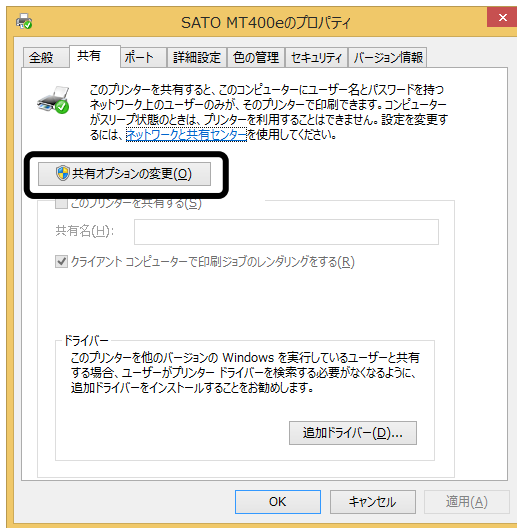
「デバイスとプリンター」フォルダを開く一般的な方法は、 を右クリックまたはクリックし、「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」を選びます。

2. 「共有」タブを選びます。



② 「共有オプションの変更(Q)」 ボタンをクリックします。

※ 本操作は、Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012 の場合に必要です。



「共有オプションの変更(Q)」が表示されない場合は、以下の操作をしてください。

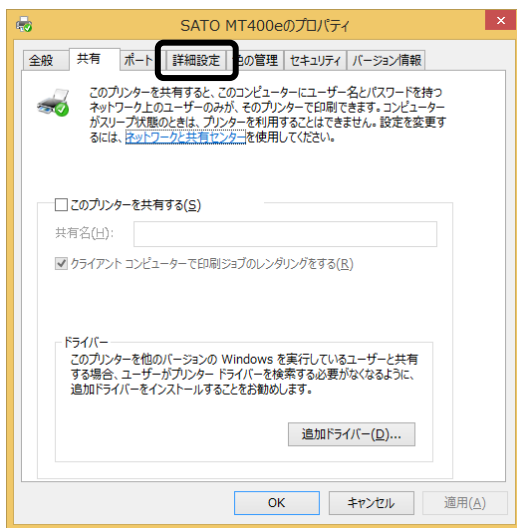
- (1) 「コントロールパネル」を開き、「ネットワークと共有センター」を選びます。
- (2) 「共有の詳細設定の変更...」を選びます。
- (3) 「ファイルとプリンターの共有」の「ファイルとプリンターの共有を無効にする」にチェックをして、「変更の保存」ボタンをクリックしてください。

全ユーザーのプリンタドライバの設定をするときは 43 ページをご覧ください。

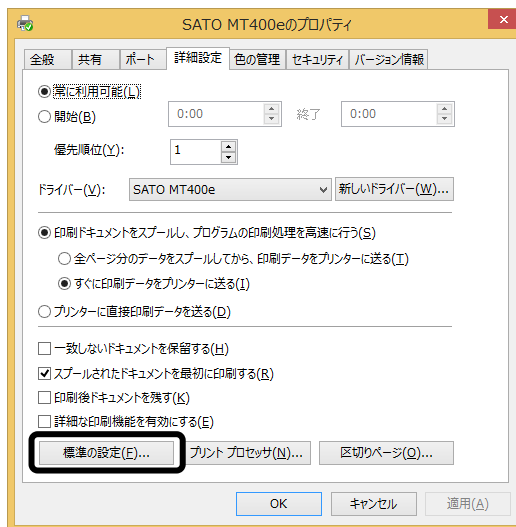
個別ユーザーのみのプリンタドライバの設定をするときは 44 ページをご覧ください。

- ▲全ユーザーのプリンタドライバを設定するときは、「標準の設定」を使用します。
新規追加したユーザーのドライバの設定は、「標準の設定」の値が初期値になります。

③ 「詳細設定」タブを選びます。



④ 「標準の設定(E)...」 ボタンをクリックします。

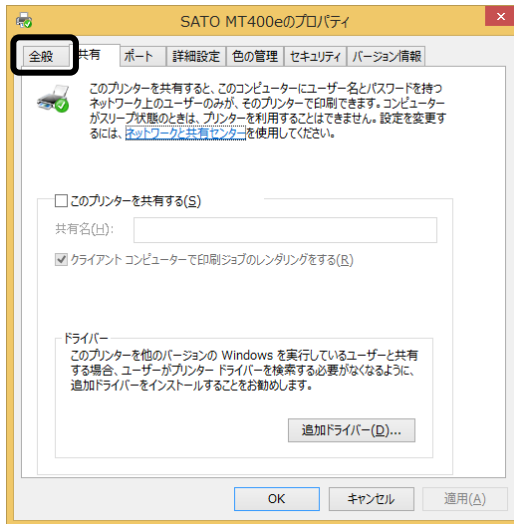


⑤ プリンタドライバの設定シートが開きます。

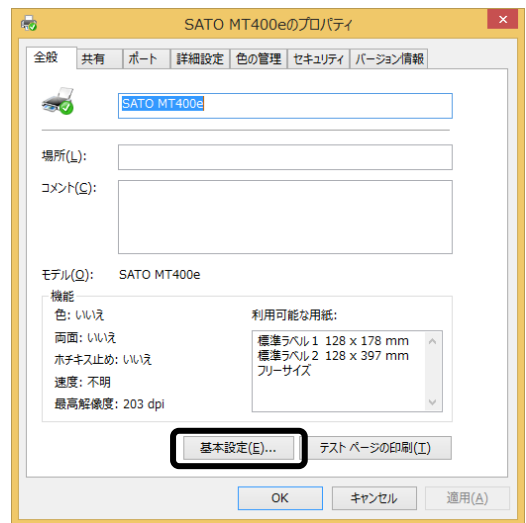


▲個別ユーザーのみのプリンタドライバを設定するときは、「基本設定(E)...」ボタンを使用します。

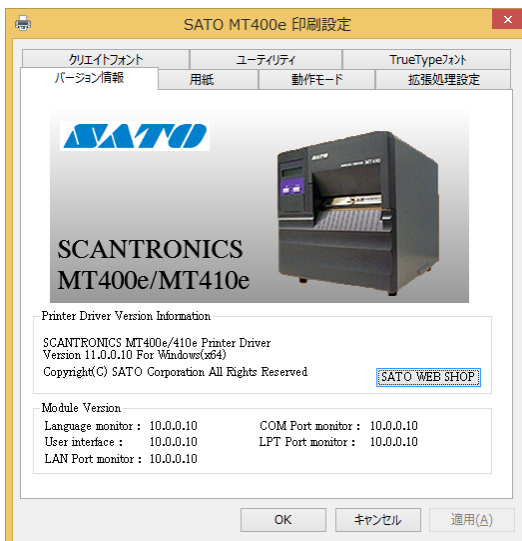
③ 「全般」タブを選びます。



④ 「基本設定(E)...」ボタンをクリックします。

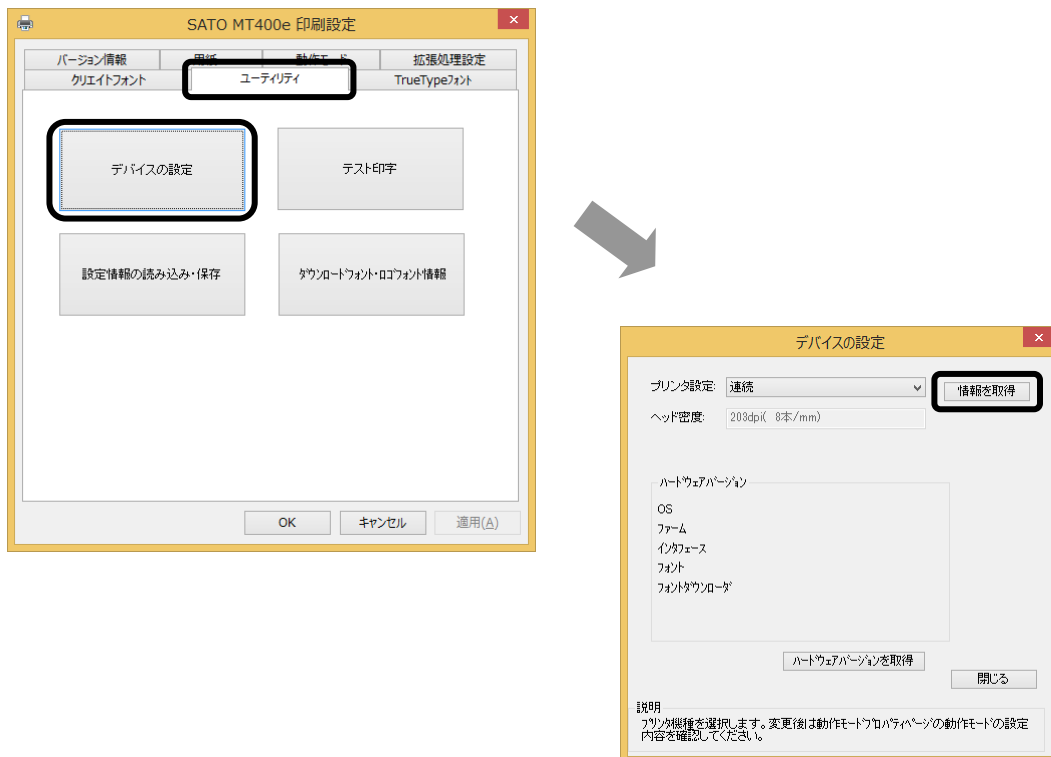


⑤ プリンタドライバの設定シートが開きます。



⑥ プリンタの状態を取得します。

1. 「ユーティリティ」タブを選び、「デバイスの設定」ボタンをクリックします。



2. プリンタの電源を入れてください。

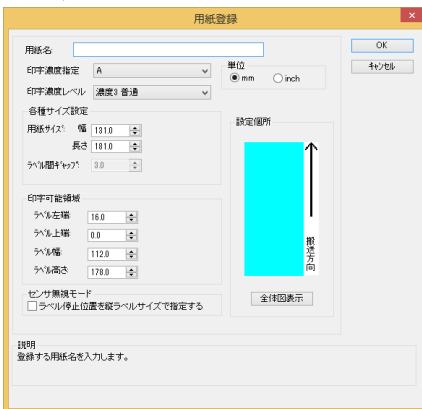
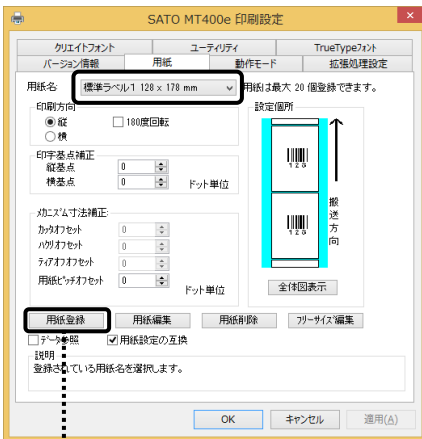
3. 「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。
プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタの動作を設定できます。

⑦ 用紙を選びます。

1. 「用紙」タブを選びます。



2. 「用紙名」の ▾ をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選んでください。



「用紙名」には数種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

<MT400e/410e、M-48Pro>

標準ラベル 1 128×178(mm)

標準ラベル 2 128×400(mm)

<MR600e>

標準ラベル 1 180×239(mm)

標準ラベル 2 180×400(mm)

<MR610e>

標準ラベル 1 180×181(mm)

標準ラベル 2 180×400(mm)

<MT/MR110w>

標準ラベル 1 266×300(mm)

標準ラベル 2 258×50(mm)

JAMA (L) 276×105(mm)

JAMA (M) 276×85(mm)

JAMA (S) 276×70(mm)

※ 標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> にある「プリンタドライバ 説明書」をダウンロードして、「1.7 用紙 (MT/MR110w)」をご確認ください。

ヒント

ここで選んだ用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙として設定されます。

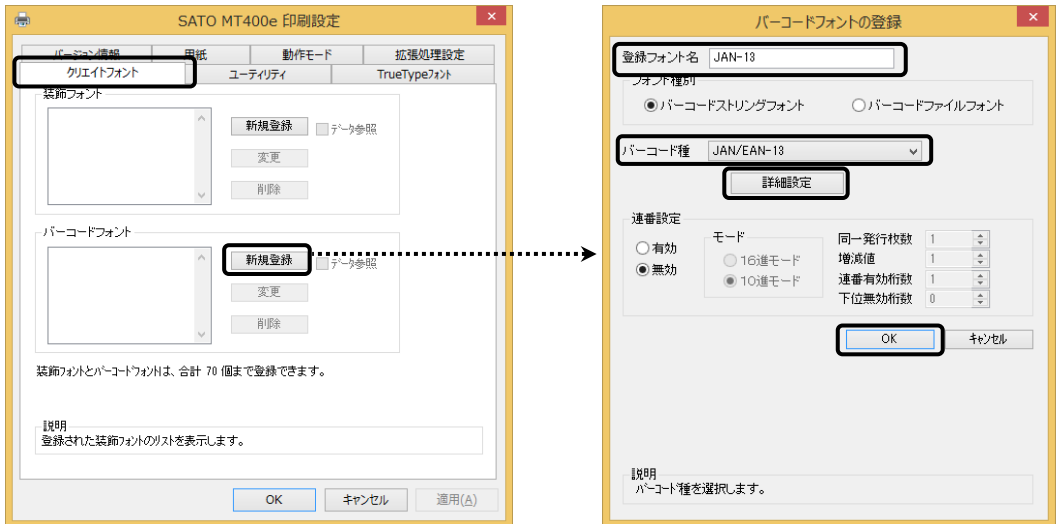
アプリケーションソフトによっては、あらためて用紙を選ぶ必要があるものもあります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

注意 プリンタドライバ経由で発行する場合は、濃度指定と印字濃度レベルが有効ですので、本設定で印字が適性になるように設定をお願いします。

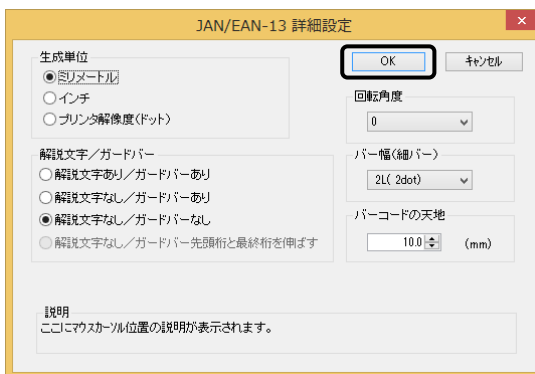
⑧ バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

1. 「クリエイトフォント」タブを選び、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。



2. 「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。
3. 「バーコード種」の ▾ をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選び、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。
4. 選んだバーコード種に対応する設定ダイアログを表示します。



※ ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定をしています。

5. 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」ボタンをクリックしてください。

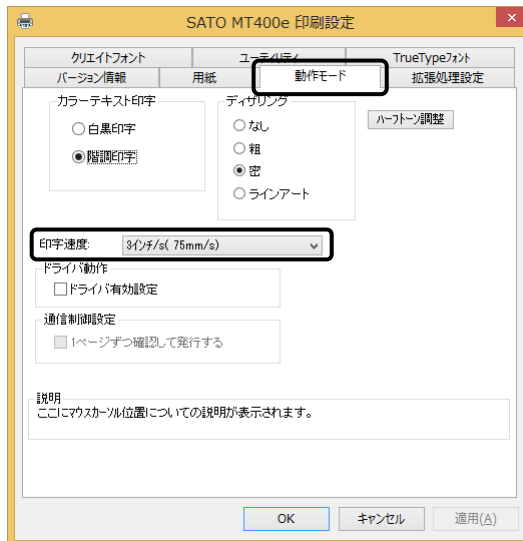
以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能です。

注意 使用するアプリケーションによっては、プリンタドライバで設定した装飾フォント・バーコードフォントが印字できない場合があります。

※ 「クリエイトフォント」シートに関する詳細は、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/>にある「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.11クリエイトフォント」をご確認ください。

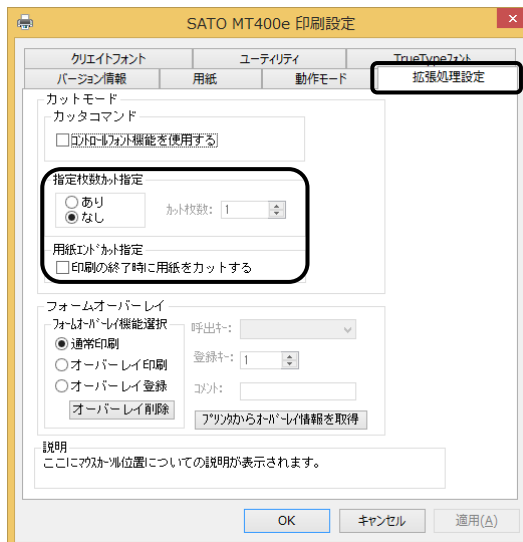
⑨ プリンタ動作を設定します。

1. 「動作モード」タブを選びます。
2. 「印字速度」の▼をクリックして、表示されるリストから印字速度を選びます。



⑩ カッタ付プリンタをご使用の場合

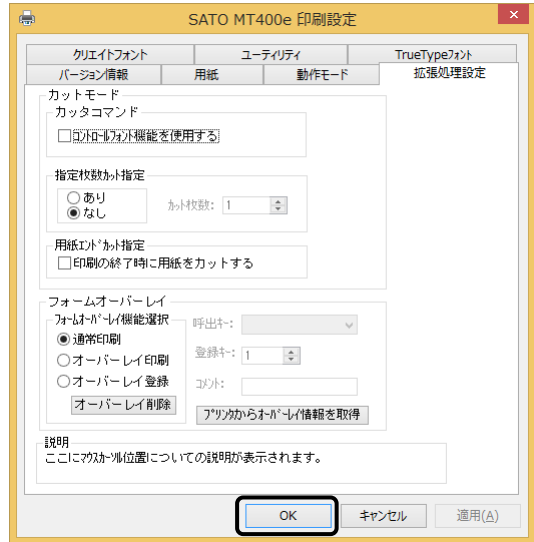
1. 「拡張処理設定」タブを選びます。
2. 一定枚数ごとにラベルをカットする場合は「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。
3. 印刷終了ごとにラベルをカットする場合は「印刷の終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックし、カット動作を設定してください。



※「拡張処理設定」シートに関する詳細は、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> にある「プリンタドライバ説明書」をダウンロードして、「1.10 拡張処理設定」をご確認ください。

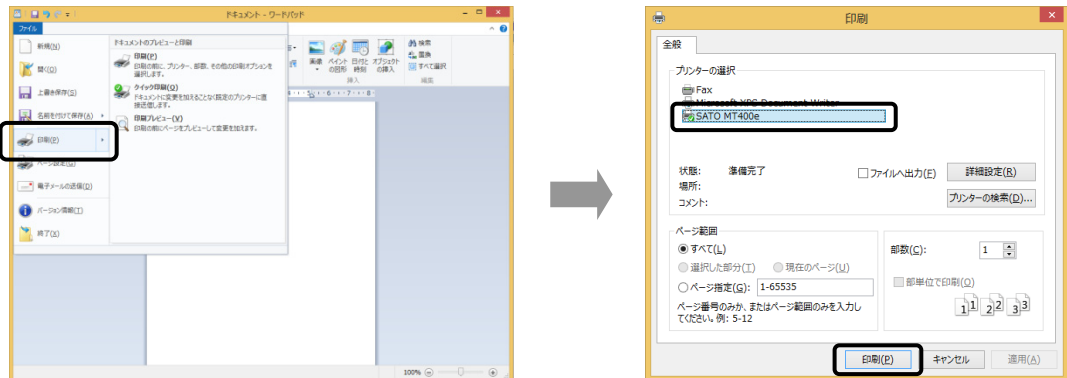
⑪ 設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます。

設定シートの「OK」ボタンをクリックしてください。



⑫ ラベル発行を開始します。

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(E)」メニューから「印刷(P)」を選んだときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。



ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、お使いのプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(E)」メニューから「印刷(P)」を選んだときに表示されるリストから、またはダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▾ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選ぶことで設定できます。

また、アプリケーションソフトによっては「⑦用紙を選びます」で選んだ用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選ぶ必要があるものもあります。

注意 弊社ソフトウェア（Multi LABELIST、Labelian（ラベリアン・ラベリ庵））を使用した場合、プリンタドライバの設定ではなく、弊社ソフトウェアの設定が有効です。

7. プリンタドライバのアンインストール方法

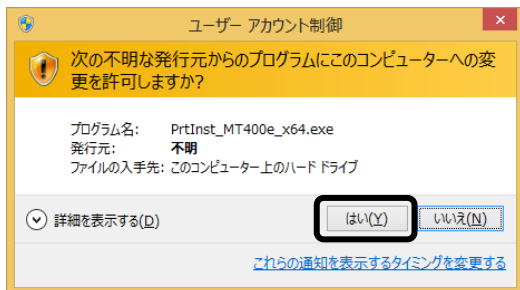
プリンタドライバをアンインストールする手順を説明します。

お願い

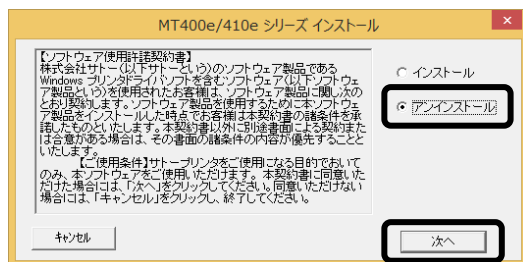
アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。
Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

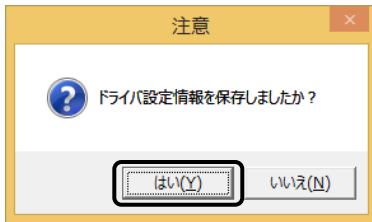
- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> から「プリンタドライバ・プリンタ設定ツール」をダウンロードします。
- ③ 「MT400e-v11_0_0_10-64bit.exe」を実行して、インストーラーを解凍します。
※ x86 版 OS (32bit 版 OS) の場合は、「MT400e-v11_0_0_10-32bit.exe」を実行します。
- ④ 「PrtInst_MT400e_x64.exe」を実行して、インストーラーを起動します。
※ x86 版 OS (32bit 版 OS) の場合は、「PrtInst_MT400e_x86.exe」を実行します。
- ⑤ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



- ⑥ 「アンインストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。



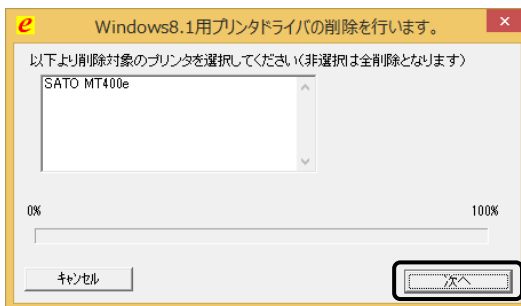
- ⑦ ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい(Y)」ボタンをクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」「クリエイトフォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」の「設定情報の読み込み・保存」にてファイル保存をおこなってください。保存方法は、53 ページをご覧ください。

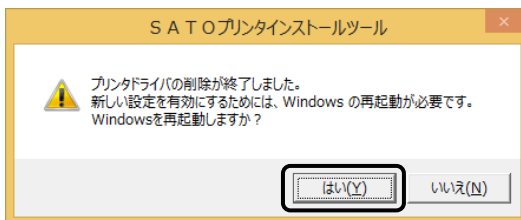
- ⑧ プリントドライバをアンインストール（削除）します。
プリンタを選ばずにアンインストールすると、表示しているすべてのプリントドライバを削除します。プリンタを選んでアンインストールすると、選んだプリントドライバのみ削除します。
「次へ」ボタンをクリックすると、アンインストールを開始します。



ヒント

アンインストールを実施すると、プリントドライバをインストールしたときにインストールした、「SATOポート」も削除します。

- ⑨ 「はい(Y)」ボタンをクリックします。
必ず Windows を再起動してください。
以上でプリントドライバのアンインストールは完了です。



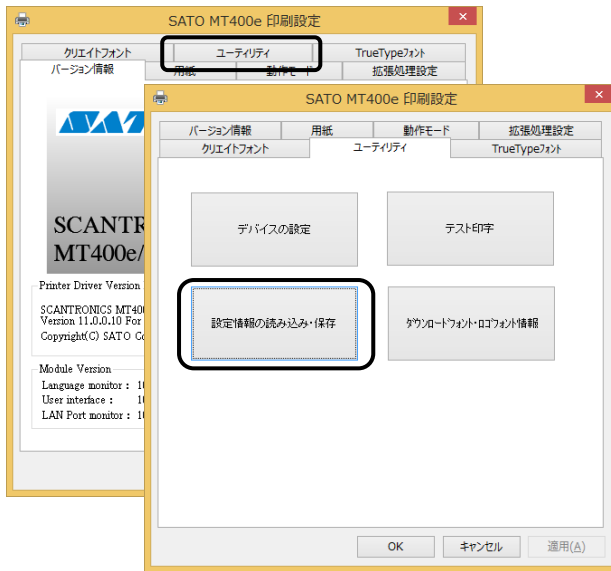
8. ドライバ設定情報の保存方法

ドライバ設定情報の保存方法について説明します。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。

Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

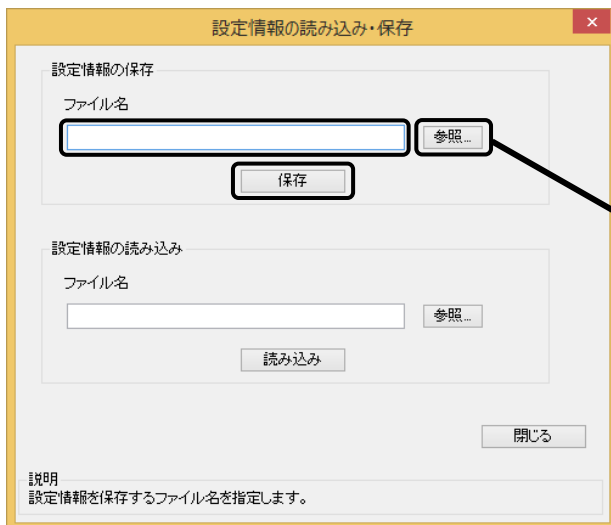
- ① プリンタドライバの「基本設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読み込み・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

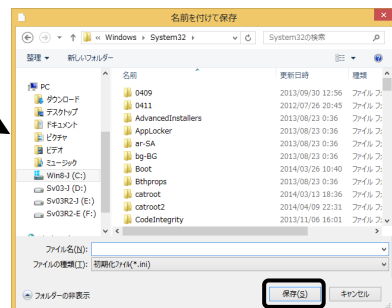
標準の設定を開く方法は、43 ページをご覧ください。

- ② 「参照...」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」画面を表示します。ファイルの保存先を指定し、ファイル名を入力します。「保存(S)」ボタンをクリックします。「設定情報の読み込み・保存」画面の「保存」ボタンをクリックします。



ヒント

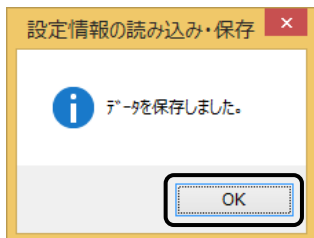
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイル保存できます。



ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「ini」を付加してください。

- ③ 「データを保存しました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。



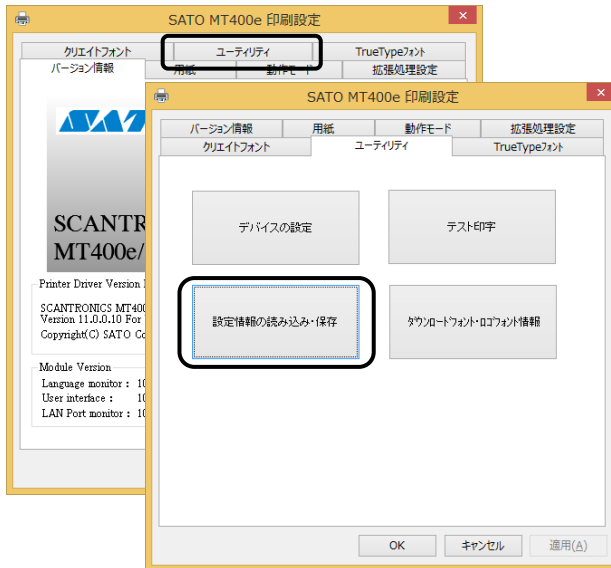
9. ドライバ設定情報の読み込み方法

ドライバ設定情報の読み込み方法について説明します。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 8.1 を使用しています。

Windows Vista/7/8/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通です。

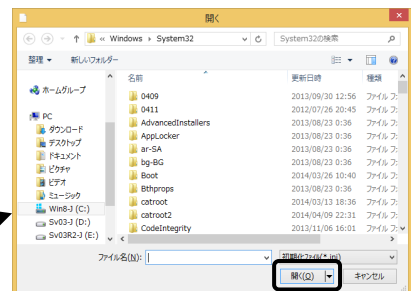
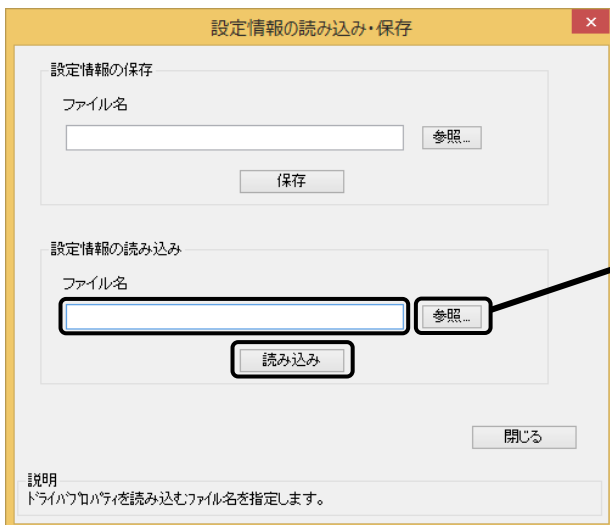
- ① プリンタドライバの「印刷設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読み込み・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

標準の設定を開く方法は、43 ページをご覧ください。

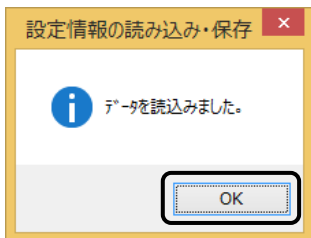
- ② 「参照...」ボタンをクリックして、「開く」画面でファイルを読み込みます。「開く(O)」ボタンをクリックします。「設定情報の読み込み・保存」画面の「読み込み」ボタンをクリックします。



ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「.ini」を付加してください。

③ 「データを読み込みました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。

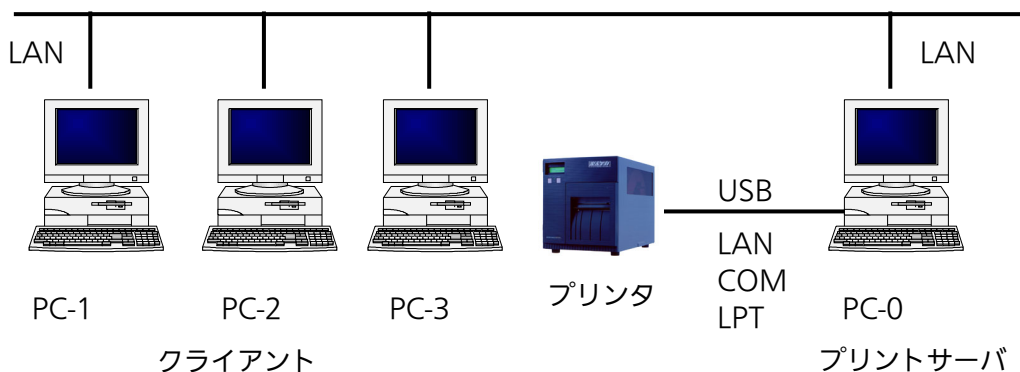


10. プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

1. 接続方法

接続は、下図に示しますように、1 台のコンピュータ（PC-0）をプリントサーバにし、他のコンピュータ（PC-1、PC-2、PC-3、・・・）はクライアントとします。また、すべてのコンピュータは LAN 接続されており、プリントサーバとプリンタは LPT（もしくは COM、USB、LAN）で接続します。



2. プリンタドライバの設定方法

①プリントサーバ、クライアントともに、SATO ダウンロードサイト <http://www.sato.co.jp/download/> からダウンロードして、プリンタドライバをインストールします。

- 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しないおそれがあります（ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです）。
- クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなく標準ポート（LPT、COM）を指定してください。
- プrintサーバにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。

②プリントサーバのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。

③クライアントのプリンタドライバの出力先ポートをサーバで設定した共有プリンタに指定します。

環 境	設定方法
Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」でポートの追加をおこないます。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥¥共有プリンタ名」を指定します。
Windows 7 Windows 8 Windows Server 2012 Windows 8.1	ドライバ→「プリンタのプロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」でポートの追加をおこないます。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥¥共有プリンタ名」を指定します。

④クライアント側のプリンタドライバの双方向通信を OFF にします。

環 境	設定方法
Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。
Windows 7 Windows 8 Windows Server 2012 Windows 8.1	ドライバ→「プリンタのプロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

注意 出力先が SATO ポート（SATO LPT、SATO COM、SATO LAN）を指定していた場合、本操作をおこなうとプロパティ情報（クリエイトフォントや用紙情報など）が初期化されるおそれがあります。
出力先が SATO ポート以外であることを確認して本操作をおこなってください。
SATO ポートを選んでいた場合は、一度標準ポート（LPT、COM）を選び、「OK」ボタンでポートの変更後に、本操作をおこなってください。

3. 制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

- ① プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
- ② 「拡張処理設定」タブの「プリンタからオーバーレイ情報を取得」は使用できません。それに伴い「フォームオーバーレイ印刷」も使用できません。
- ③ 「ユーティリティ」タブの「デバイスの設定」の「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
- ④ 「動作モード」タブの「動作モード」指定、および「用紙」タブの「メカニズム補正—各種オフセット」指定が制限されます。
- ⑤ ダウンロードツールは使用できません。それに伴い、ダウンロードフォント・ロゴも使用できません。
- ⑥ プリンタ設定ツールは使用できません。

11. Q&A

Q1 「プリンタドライバがインストールできない、インストール時にエラーが発生する」

チェック インストールしようとしているユーザーは Administrator 権限ですか？

Administrator 権限ユーザーでインストールをおこなってください。

チェック Windows Server OS などでターミナルサービスが起動されていませんか？

ターミナルサービスを一時的に停止するか、モードをインストールモードに変更してインストールをおこなってください。

チェック リモートデスクトップなどを利用して遠隔コンピュータからインストールしようとしていませんか？

インストールするコンピュータ上でインストールをおこなってください。

チェック 古いバージョンのプリンタドライバがすでにインストールされていませんか？

アンインストーラーを使って古いバージョンのプリンタドライバをアンインストールし、コンピュータを再起動して最新のプリンタドライバでインストールをおこなってください。

Q2 「印刷に失敗する」

チェック プリンタの電源は入っていますか？プリンタにケーブルは接続されていますか？

プリンタの電源を入れ、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

チェック プリンタの通信プロトコルは、ステータス 4 になっていますか？

プリンタドライバを使用する場合、通信プロトコルはステータス 4 に限定されます。

プリンタの通信プロトコルをステータス 4 に設定してください。

チェック プリンタドライバの COM ポートは正常に動作していますか？（RS-232C をご使用の場合）

プロパティのポートタブにて、印刷ポートを COM に指定し、ポートの構成のデバイスチェックで「本デバイスは他ドライバで使用しているため使用できません」と表示される場合、他のドライバがその COM を専有しています。印字対象以外のプリンタドライバのポート設定を確認し、COM の設定を外してください。

Q3 「プリンタで印字したバーコードが読めない」

チェック バーコードがイメージで作成されていませんか？

プリンタドライバを使用して、バーコードフォントやバーコードイメージ（BMP）などを印字する場合、印字されたバーコードがスキャナで読み取りできない場合があります。これは描画されたバーコードとプリンタの解像度が異なることでバーコードを正しく印字できないことが原因です。プリンタドライバのクリエイトバーコードをご利用ください。

Q4 「プリンタドライバで設定した印字速度や印字濃度、基点補正などが有効にならない」

チェック 使用しているアプリケーションソフトを確認してください。


弊社ソフトウェア（Multi LABELIST シリーズなど）を使用した場合、プリンタドライバの印字設定が有効になりません。弊社ソフトウェア側のプリンタ印字条件を確認してください。

Q5 「印字がずれる」

チェック プリンタドライバの用紙設定がされていますか？

プリンタドライバの用紙設定でご使用のラベルサイズの用紙登録をおこない、登録した用紙を選んで発行してください。

※ 現象が解消しない場合は、販売店、ディーラー、または、お客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

お問い合わせ先▶フリーダイヤル  0120-696310 9:00~17:00（土・日・祝日を除く）

12. ご注意

●ご注意

製品を安全にご使用いただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
フォント、ロゴデータについては、お客様にてマスタデータの管理をお願いします。
いかなるときもプリンタ本体に登録されているデータは保証いたしません。

●本セットアップガイドの内容は予告なく変更する場合があります。

●使用許諾について

各種ソフトウェアをご使用いただく上で、はじめに SATO ダウンロードサイトにある「ソフトウェア使用許諾契約書」<http://www.sato.co.jp/download/agreement.html> をご確認ください。

●動作環境について（お使いになるコンピュータは以下のスペックを推奨します。）

◆米国マイクロソフト社の OS ごとの推奨スペック以上でご使用ください。

◆画面の表示色 32,000 [High Color (16 ビット)] 以上の表示

◆画面サイズ 800×600 ピクセル以上

◆対応 OS

<x86 版 OS>

Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business
Windows Vista Ultimate

Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate

Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8 Enterprise

Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Enterprise

Windows Server 2003 Standard、Windows Server 2003 Enterprise、Windows Server 2003
R2 Standard、Windows Server 2003 R2 Enterprise

Windows Server 2008 Standard、Windows Server 2008 Enterprise

<x64 版 OS>

Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate

Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8 Enterprise

Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Enterprise

Windows Server 2008 Standard、Windows Server 2008 Enterprise

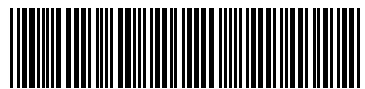
Windows Server 2008 R2 Standard、Windows Server 2008 R2 Enterprise

Windows Server 2012 Foundation、Windows Server 2012 Essentials、

Windows Server 2012 Standard

●Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

SATO



QC0773711